

---

**資料名** ※一覧にはリンクを設定していません。ページ移動にはPDFのしおり（ブックマーク）をご利用ください。

1-2-1-1\_教員の配置状況

1-2-1-2\_開設授業科目一覧

1-2-2\_教授会等の規程上の開催頻度と前年度における開催実績一覧

1-2-5\_SDの実施内容・方法及び実施状況一覧

1-3-1\_法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧

1-3-2\_法曹養成連携協定に関連して法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧

2-1-1\_責任体制等一覧

2-1-2\_教育課程連携協議会の規程上の開催頻度と前年度における開催実績一覧

2-2-1\_自己点検・評価の実施状況が確認できる資料（過去5年分）

2-3-1\_司法試験の合格状況

2-5-1\_教員の採用・昇任の状況（過去5年分）

2-5-2\_教員評価の実施状況（直近3回程度）

2-5-3\_FDの実施内容・方法及び実施状況一覧

3-7-2\_過去5年間ににおける教員の研究専念期間取得状況

4-2-1\_入学者選抜の方法一覧

4-3-1\_学生数の状況

---

**基準1-2 教育活動等を展開する上で必要な教員等が適切に配置されているとともに、必要な運営体制が適切に整備されていること**

分析項目 1-2-1 大学院設置基準等各設置基準及び告示に照らして、必要な人数の専任教員並びに兼任及び兼任教員を配置していること

【分析の手順】

- ・大学院設置基準等各設置基準及び告示に照らして基準数以上の専任教員、並びに兼任及び兼任教員を配置していることを確認する。
- ・教員の年齢の構成が、著しく偏っていないことを確認する。

基準 3-7 専任教員の授業負担等が適切であること

分析項目 3-7-1 法科大学院の専任教員の授業負担が適正な範囲内にとどめられていること

### 【分析の手順】

他専攻、他研究科及び学部等（他大学の非常勤を含む。）を通じて各専任教員の授業負担について、学部における役職等への着任状況その他の当該法科大学院において必要とされる負担も踏まえて、適正な範囲（年間20単位以下であることが望ましく、年間30単位を超える場合には、適切な範囲内にあるとはいえない）に定められていることを確認する。

教員の配置状況（別紙様式1-2-1-1）

### 教員一覽

[illegible]

[illegible]

教員分類別内訳

分類		所属	略称	教授	准教授	講師	助教	計	
								うち、法曹としての実務の経験を有する者	
専任教員	専属専任教員	研究者・専任教員	法科大学院	研・専	3	5	0	0	8
		実務家・専任教員		実・専	4	0	0	0	4
		実務家・みなし専任教員		実・み	0	0	0	0	0
	兼務研究者・専任教員	学士課程	専・他	0	0	0	0	0	
		修士課程		0	0	0	0	0	
		博士前期課程		0	0	0	0	0	
		博士後期課程		0	0	0	0	0	
		専門職学位課程		0	0	0	0	0	
	兼務実務家・専任教員	学士課程	専・他	0	0	0	0	0	
		修士課程		0	0	0	0	0	
		博士前期課程		0	0	0	0	0	
		博士後期課程		0	0	0	0	0	
		専門職学位課程		0	0	0	0	0	
兼任教員(学内の他学部等の教員)			兼任	8	5	1	1	15	
兼任教員(他の大学等の教員等)			兼任			53		53	
合計				15	10	54	1	4	84

- (注) 1. 評価実施年度の5月1日現在で記入してください。なお、授業科目名及び単位数は、カリキュラムの新旧を問わず、評価実施年度において各教員が担当する授業科目についてすべて記入してください。なお、受講者がいないため開講となった授業科目についても記入してください。
2. 教員一覧については、教員分類ごとに、教授、准教授、講師、助教の順に記入してください。なお、「分類」については、本様式の教員分類別内訳の「略称」をリストから選択してください。
3. 教員一覧の「所属」については、教員分類別内訳の「所属」をリストから選択してください。
4. 教員一覧の「職名」については、教員分類別内訳の職種(教授、准教授、講師、助教)を記入してください。なお、研究科長、専攻長等に就いている場合には併せて記入してください。
5. 教員一覧の「実務経験年数」及び「実務家教員の職種」については、教員分類別内訳の「分類」の「専任教員」に該当する実務家教員のみ記入してください。また、「実務家教員の職種」については、法曹としての実務の経験を有する場合には職種に応じて『裁判官』、『検察官』、『弁護士』と記入してください。法曹以外の実務経験を有する場合には『その他』と記入してください。また、「年数」については、当該教員の実務の経験年数を職種ごとに記入してください。  
(例:裁判官の経験年数が7年11ヶ月及び民間企業勤務の経験年数が6年10ヶ月の教員の場合には、「実務家教員の職種」は『裁判官／その他』、「年数」は『7. 11／6. 10』となります。)
6. 教員一覧の「担当授業科目」の「クラス数」については、1つの授業科目において、複数のクラスが開講されており、同一の教員が複数のクラスを担当している場合に、その担当クラス数を記入してください。なお、1クラスの場合も、『1』と記入してください。
7. 教員一覧の「担当授業科目」及び「年間総単位数」に係る単位数の計算にあたり、複数教員による授業科目を担当する場合は、当該授業科目の単位数に対する担当する教員ごとの担当時間数の割合により記入してください。また、複数のクラスを担当している場合は、さらにクラス数を乗じた単位数を記入してください。なお、単位数については、小数点第2位を四捨五入してください。(例:授業科目(2単位)の時間数が30時間で、当該授業科目を2人の教員で担当(担当する時間数は、それぞれ20時間と10時間)し、どちらも2クラスを担当する場合には、それぞれ、 $2(単位) \times 2(クラス) \times 20(時間) \div 30(時間) = 2.66\cdots \approx [2.7]$ 、 $2(単位) \times 2(クラス) \times 10(時間) \div 30(時間) = 1.32\cdots \approx [1.3]$ となります。)
8. 教員一覧の「担当授業科目」の「集・オ・共」については、集中講義の場合には『集』と、オムニバス授業の場合には『オ』と、共同授業の場合は『共』と記入してください。なお、複数の該当する場合には、該当するものをすべて記入してください。
9. 教員一覧の「担当授業科目」の「大学等名」については、自大学他専攻等を担当する教員の場合には、研究科・専攻名又は学部・学科名等を、他大学等を担当する教員の場合には、大学・研究科・専攻名又は大学・学部・学科名等を記入してください。
10. 教員一覧の「年間総単位数」については、「自大学法科大学院担当授業科目」、「自大学他専攻等担当授業科目」、「他大学等担当授業科目」の合計を記入してください。
11. 教員分類別内訳の「分類」の「兼任教員(学内の他学部等の教員)」及び「兼任教員(他の大学等の教員等)」に該当する教員については、教員一覧にある「自大学他専攻等担当授業科目」及び「他大学等担当授業科目」の記入は必要ありません。この場合、「年間総単位数」については、「自大学法科大学院担当授業科目」に係る単位数となります。
12. 教員一覧の「担当授業科目」の「自大学他専攻等担当授業科目」の「課程」については、学部の場合には『(B)』、修士課程・博士前期課程の場合には『(M)』、博士後期課程の場合には『(D)』、専門職学位課程の場合には『(P)』を記入してください。
13. 修士課程の専任教員を法科大学院の専任教員と扱う場合は、専・他と分類してください。
14. 教員一覧の31行目から400行目は非表示になっています。必要に応じ、再表示して記入してください。再表示しても行が足りない場合は、行の挿入により追加してください(ブルダウン等の設定にご留意ください)。

**基準1-2 教育活動等を展開する上で必要な教員等が適切に配置されているとともに、必要な運営体制が適切に整備されていること**

分析項目1-2-1 大学院設置基準等各設置基準及び告示に照らし、必要な人数の専任教員並びに兼任及び兼任教員を配置していること

【分析の手順】

- ・教育上主要と認める授業科目の定義を確認し、該当する授業科目への専任の教授又は准教授の配置状況（該当する授業科目数、そのうち専任の教授又は准教授が担当する科目数、専任の講師が担当する科目数）を確認する。
- ※教育上主要と認める授業科目への専任の教授・准教授の担当に関しては、実際に授業を担当しない場合でも、専任の教授又は准教授が授業の内容、実施、成績に関して責任を持っている場合は、その授業科目を分析項目の状況に準ずるものとして分析することが可能

**基準3-4 単位制と方針及び教育環境方針に則して、法科大学院にふさわしい授業形態及び授業方法が採用されていること**

分析項目3-4-1 授業科目の区分、内容及び関連目標に応じて、適切な授業形態、授業方法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること

【分析の手順】

- ・授業の内容及び方法等が、大学設置基準等各設置基準の規定を満たしており、それらが学生に対して明示されていることを確認する。
- ・少人数による双方向的又は多方向的な密度の高い授業方法を基本としつつ、例えば法律基本科目の基礎科目においては、基礎的な学識を涵養するために適切な方法で授業が実施されていることを確認する。

分析項目3-4-4 同時に授業を行う学生数は少人数が基本とされ、特に法律基本科目については原則として50人以下となっていること

【分析の手順】

- ・法律基本科目において同時に授業を行う学生数が50人を超える授業科目がある場合は、教育上の必要性と十分な教育効果が上げられるものとなっていることを確認する。

分析項目3-4-5 各授業科目における授業時間の設定が、単位数との関係において法令に則したものであること

【分析の手順】

- ・授業時間の設定が、授業の方法（講義、演習、実習）に応じて、単位数との関係において法令に則したものであることを確認する。

開設授業科目一覧（別紙様式1-2-1-2）

学期区分：セメスター制（一部科目はクォーター制）を採用

科 目		主要授業科目	連携開設科目	授業科目名	配当 年次	学期	時間数	単位数	必修・選択 等	開講方法	授業方法 (形態)	受講学生数		担当教員		開設単位 数	シラバス ページ	備考
												LSの学生	LS外の学生	教員名	分類			
法律基本科目	公法系科目 (憲法・行政法)	基礎科目	○	憲法	1	前期	45	4	必修	毎年	講義	20		松本 実志	専・専	14	5	カリキュラム設定の関係で前期・後期両方とも開講。受講学生数は「前期・後期」である。
			○	行政法	2	前期	45	4	必修	毎年	講義	2		松本 実志	専・専		8	
			○	憲法演習	3	前期	22.5	2	必修	毎年	演習	4		岡本 誠子	研・専		35	
			○	行政法演習	2	後期	22.5	2	必修	毎年	演習	9		松本 実志	専・専		35	
		応用科目	○	公法総合演習	3	後期	22.5	2	必修	毎年	演習	5+5		岡本 誠子 松本 実志	研・専 兼任		37	
	民事系科目 (民法・商法・民事訴訟法)	基礎科目	○	民法Ⅰ	1	前期	45	4	必修	毎年	講義	10		舟橋 秀明	研・専	34	11	
			○	民法Ⅱ	1	前期	45	4	必修	毎年	講義	11		尾島 茂樹	研・専		14	
			○	民法Ⅲ	1	後期	45	4	必修	毎年	講義	6		宮本 誠子	研・専		16	
			○	商法	1	後期	67.5	6	必修	毎年	講義	6		川崎 茂樹	兼任		18	
		応用科目	○	民事訴訟法	2	前期	45	4	必修	毎年	講義	6		木間 孝	研・専		21	
			○	民法演習Ⅰ	2	前期	22.5	2	必修	毎年	演習	6		尾島 茂樹	研・専		42	
			○	民法演習Ⅱ	2	後期	22.5	2	必修	毎年	演習	7		舟橋 秀明	研・専		44	
			○	商法演習	3	前期	22.5	2	必修	毎年	演習	9		泉川 敏雄	兼任		45	
			○	民事訴訟法演習	2	後期	22.5	2	必修	毎年	演習	10		木間 孝	研・専		48	
			○	民事訴訟法演習Ⅰ	3	前期	22.5	2	必修	毎年	演習	9		尾島 茂樹	専・専		50	
			○	民事訴訟法演習Ⅱ	3	後期	22.5	2	必修	毎年	演習	10		松本 実志	専・専		53	
			○	刑法Ⅰ	1	前期	45	4	必修	毎年	講義	10		上田 正和	専・専		24	
	刑事系科目 (刑法・刑事訴訟法)	基礎科目	○	刑法Ⅱ	1	後期	45	4	必修	毎年	講義	6		小島 謙介	研・専	18	26	カリキュラム設定の関係で前期・後期両方とも開講。受講学生数は「前期・後期」である。
			○	刑事訴訟法	2	前期	45	4	必修	毎年	講義	6		松本 茂樹	研・専		29	
			○	刑法演習	2	後期	22.5	2	必修	毎年	演習	6		小島 謙介	研・専		35	
			○	刑事訴訟法演習	2	後期	22.5	2	必修	毎年	演習	5+6		松本 茂樹	研・専		58	
		応用科目	○	刑事訴訟法演習	2	後期	22.5	2	必修	毎年	演習	5+6		松本 茂樹	研・専		58	
			○	刑事訴訟法演習	3	後期	22.5	2	必修	毎年	演習	11		上田 正和	専・専		60	
	その他	基礎科目		基礎演習Ⅰ	1	前期	12	1	選択	毎年	演習	9		岡本 誠子 舟橋 秀明 小島 謙介	研・専 研・専 研・専	2	1	
				基礎演習Ⅱ	1	後期	12	1	選択	毎年	演習	6		宮本 誠子 岡本 誠子 小島 謙介	研・専 研・専 研・専		3	
		基礎科目	○	法曹倫理	2	後期	22.5	2	必修	毎年	講義	6		岡本 誠子 尾島 茂樹 舟橋 秀明 中澤 聡	研・専 研・専 研・専 兼任	2	62	
			○	民事訴訟実務の基礎	2	後期	22.5	2	必修	毎年	講義	6		大塚 隆文	専・専		64	
法律実務基礎科目	民事訴訟実務の基礎	基礎科目	○	民事訴訟実務の基礎	3	前期	22.5	2	必修	毎年	講義	9		岡本 誠子 上田 正和 中澤 聡	研・専 研・専 兼任	2	67	
	刑事訴訟実務の基礎	基礎科目	○	刑事訴訟実務の基礎	3	前期	22.5	2	必修	毎年	講義	9		岡本 誠子 上田 正和 中澤 聡	研・専 研・専 兼任	2	67	
	模擬裁判	基礎科目	○	模擬裁判（刑事）	3	Q3	12	1	選択必修	毎年	演習	4		上田 正和	専・専	2	71	2020年度以前入学者はシラバス69頁「模擬裁判関係」に、2020年度以前入学者は前期配当科目であり、2021年度短縮コース入学者は後期開講科目である。科目性質上一定数の受講生が必要なため2021年度短縮コース入学者の開講期を変更して全員を前期開講とする。
			○	模擬裁判（民事）	3	Q4	12	1	選択必修	毎年	演習	4		岡本 誠子 大塚 隆文 長瀬 貴志	研・専 専・専 専・専		73	
	ローヤリング	基礎科目																2020年度以前入学者は「公法実務基礎（税関法務）」という科目名でシラバス102頁、開科目名での開講者3名（内数）
	クリニック	基礎科目	○	クリニック	3	後期	19.5	1	選択必修	毎年	講義・実習	3		岡本 誠子 三浦 久雄	研・専 専・専	1	75	2020年度以前入学者は「公法実務基礎（税関法務）」という科目名でシラバス102頁、開科目名での開講者3名（内数）
	エクスターンシップ	基礎科目	○	エクスターンシップ	2・3	前期	67.5	2	選択必修	毎年	講義・実習	6		岡本 誠子 三浦 久雄	研・専 専・専	2	79	2020年度以前入学者は「公法実務基礎（税関法務）」という科目名でシラバス102頁、開科目名での開講者3名（内数）
基礎法学・隣接科目	公法系訴訟実務の基礎 法情報調査 法文書作成	基礎科目																2020年度以前入学者は「公法実務基礎（税関法務）」という科目名でシラバス102頁、開科目名での開講者3名（内数）
	基礎法学・隣接科目	基礎科目		法理学	1・2・3	前期	22.5	2	選択	毎年	講義	5	4	尾島 茂樹	兼任	16	81	2019年度以前入学者は「地方自治の現状と課題」という科目名でシラバス102頁、開科目名での開講者3名（内数）
				日本法制史	1・2・3	前期	22.5	2	選択	毎年	講義	5	1	丸本 由美子	兼任		84	
				憲法史	1・2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	1		中村 正人	兼任		86	
				憲法史	1・2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	1		中村 正人	兼任		86	
	基礎法学・隣接科目	基礎科目		刑事政策	1・2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	11		大塚 隆文	兼任	16	90	2019年度以前入学者は「地方自治の現状と課題」という科目名でシラバス102頁、開科目名での開講者3名（内数）
				政治学	1・2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	2	1	岡本 誠子	兼任		92	
				選挙管理法制	1・2・3	Q3	12	1	選択	毎年	講義	5		岡本 誠子	兼任		94	
				政策法務	1・2・3	Q4	12	1	選択	毎年	講義・演習	5		岡本 誠子	兼任		98	
	基礎法学・隣接科目	基礎科目		危機管理・復興法制	1・2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	10		岡本 誠子	兼任	16	96	2019年度以前入学者は「地方自治の現状と課題」という科目名でシラバス102頁、開科目名での開講者3名（内数）
基礎法学・隣接科目	倒産法	基礎科目	○	倒産法Ⅰ	2・3	前期	22.5	2	選択	毎年	講義	2		三浦 久雄	専・専		124	
			○	倒産法Ⅱ	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	6		三浦 久雄	専・専		126	
			○	破産法Ⅰ	2・3	前期	22.5	2	選択	毎年	講義	5	1	中村 正人	兼任		104	
			○	破産法Ⅱ	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	1		岡本 誠子 高橋 秀明 尾島 茂樹	研・専 研・専 研・専		107	
	経済法	基礎科目	○	経済法	2・3	前期	22.5	2	選択	毎年	講義	5		流 洋雄	兼任		115	シラバス別添2

展開・先導科目	国際関係法(公法系)	○		国際法	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	1		稲角 光恵	兼任	109	入学生年度の関係で当該履修者の科目名は「国際法通論」である
		○		国際法(連携科目)	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	1		藤澤 敏	兼任	シラバス別紙117	千歳大より提供
	国際関係法(私法系)	○		国際私法	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	1		羽坂 由利子	兼任	シラバス別紙118	千歳大より提供
		○		国際私法演習(連携科目)	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	演習			中村 達	兼任	シラバス別紙119	筑波大より提供
	上記以外	○		国際取引法	2・3	前期集中	22.5	2	選択	毎年	講義	4		藤 一	兼任	128	
				社会保険法	2・3	前期	22.5	2	選択	毎年	講義	7		○村上 智 青島 明生 谷口 央	◎兼任 兼任 兼任	130	
				消費者法	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	1		○佐藤 美樹 稲葉 友香 谷本 舞 越後 純子 北島 正倫 松本 哲哉	◎研・専 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任	133	
				民法	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	5		○谷口 央 島毛 美輪 田中 和樹 古川 健司 高見 健次郎 林 純子 青島 明生 北島 正倫 羽澤 正明 中出 健作 川本 樹 橋本 明夫 西山 貞義 島田 広	◎兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任	135	
		○		紛争とその法的解決Ⅰ	2・3	前期	22.5	2	選択	毎年	講義	8		○島田 広 田中 和樹 内田清隆 藤岡 敬 北尾美帆 太田隆典 齋田真入 川上賢正 関口信雄 海邊宏美 小島美佳 松田克代 小原明博 新谷 孝子 塩村 一	◎兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任	137	
				紛争とその法的解決Ⅱ	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	12		○藤澤 敏 岡本 守弘 岸井 啓司 村田 仁人 池島 裕之 久保利 実明 山岸 麻衣子 島岡 聖也	◎研・専 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任	139	隔年開講の年間講義
				民事保全・執行法	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	9	1	本間 学	研・専	141	千歳大との共同開講
				法医学	2・3	前期	22.5	2	選択	隔年×	講義			○藤澤 敏 上田 正和 三浦 久徳 角嶋 文明 後藤 弘子 下井 康史 堀田 信文 北島 志保	◎研・専 専・専 専・専 研・専 兼任 兼任 兼任 兼任	143	
				交渉学	2・3	前期	22.5	2	選択	毎年	講義・演習			奥川 浩二	兼任	145	
				ビジネス法務	2・3	後期	22.5	2	選択	毎年	講義	4		○佐藤 美樹 岡本 守弘 岸井 啓司 村田 仁人 池島 裕之 久保利 実明 山岸 麻衣子 島岡 聖也	◎研・専 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任	147	
				法律外国語研修	2・3	後期	60	2	選択	毎年	実習			○奥川 浩二 足立 英吾 森 洋康 MERRAY LEWIS RICHARD	◎兼任 兼任 兼任 兼任	149	研修は8時間15分×4回＝33時間。ただしこの中に受け入れ先による講義も含まれる。
				インターンシップ	2・3	前期	33	1	選択	毎年	講義・実習			三浦 久徳	実・専	151	実習時間は時間および座学8コマ(12時間)の計24時間。
				法教育実習	2・3	前期集中	24	1	選択	毎年	講義・実習・実習	1		野坂 佳生	兼任		

- (注) 1. 評価実施年度の5月1日現在で、当該年度開設授業科目(当該年度入学者適用)を記入してください。なお、評価実施年度に開講されていない授業科目(不開講、隔年開講等)についても記入してください。不開講の授業科目については、その理由を「備考」に簡潔に(例:教員未定のため、カテラシム改編による当該配当年次未開講など)記入してください。
2. 「学期区分」については、採用している学期の種類(セメスター制、トリメスター制等)を記入してください。
3. 「主要授業科目」については、大学設置基準第10条に規定する教育上主要と認める授業科目に該当する授業科目に「○」を記入してください。
4. 「連携開設科目」については、専門職大学院設置基準第6条の3に規定する他の大学院と連携して開設する授業科目に該当する授業科目に「◎」を記入してください。
5. 「授業科目名」については、開設している授業科目を、4つの科目(法律基本科目、法律実務基礎科目、基礎法学・隣接科目、展開・先導科目)に区分整理して記入してください。ただし、4つの科目に区分することができない授業科目については、新たに科目分野を設けて記入してください。法律基本科目の中で、公法系・民事系・刑事系の3つの系に区分することができない授業科目については、これら3つの系の下に枠を設けて追加してください。
6. 「配当年次」については、配当年次が増える場合は、該当する配当年次をすべて記入してください(例:2、3年次配当の場合は、「2・3」と記入してください)。
7. 「学期」については、「前期」「後期」等の区分を記入してください。また、集中講義を行っている場合には、「前期集中」「後期集中」「夏季集中」等の区分を記入してください。
8. 「時間数」については、当該開設授業科目における総時間数(例:90分授業が15週行われる場合には、22.5時間となります。)を記入してください。ただし、試験時間については、含まないものとします。
9. 「単位数」については、規則等により定められた当該授業科目の単位数を記入してください。1つの授業科目が複数クラス開講されている場合には、重複して加算しないでください。
10. 「必修・選択等」については、「必修」、「選択」、「選択必修」等の区分を記入してください。
11. 「開講方法」については、「毎年」、「隔年」の区分で記入してください。なお、隔年開講については、今年度開講していれば「隔年○」、開講していなければ「隔年×」と記入してください。また、毎年開講するが、評価実施年度は不開講の授業科目については、「毎年(不開講)」と記入してください。
- さらに、その理由を「1」のおお、「備考」に記入してください。
12. 「授業方法(形態)」については、「講義」、「演習」、「実習」等各授業科目の実施形態を記入し、これらを組み合わせている場合には該当する形態をすべて記入してください。
13. 「受講学生数」については、「LSの学生」には当該法科大学院の学生の人数を、「LS外の学生」には当該法科大学院の学生以外の人数をそれぞれ記入してください。また、同一授業科目を複数クラス開講している場合には、それぞれ記入してください。(例:同一授業科目が2クラス開講しており、それぞれ50人(うちLS外の学生は2人)と40人(うちLS外の学生は0人)の場合には、「LSの学生」には「①48、②40」と記入し、「LS外の学生」には「①2、②0」と記入してください。)
- なお、後期や集中講義時に開講のため、5月1日現在で人数が未定の場合は空欄のままとしてください。
14. 「担当教員の「教員名」については、1つの授業科目で複数教員が担当している場合には、担当教員全員を記入し、当該授業科目の内容、実施及び成績評価について責任を持つ教員には、氏名の前に「◎」を付してください。また、1つの授業科目が複数クラス開講されている場合は、各クラスの担当教員についてそれぞれ記入してください。(例:①◎A教員、B教員②◎A教員、C教員)なお、「分類」については、別紙様式1-2-1-1の教員分類内訳の「分類」の略称により、記入してください。
15. 「開設単位数合計」については、法律基本科目の公法系・民事系・刑事系の各系、法律実務基礎科目の法曹倫理、民事訴訟実務の基礎、刑事訴訟実務の基礎の各科目、基礎法学・隣接科目及び展開・先導科目の各科目区分がそれぞれ一つの枠になっていますので、それぞれに該当する授業科目の単位数の合計を記入してください(R欄には数式を設定してあります。列の導入等により、参照範囲がずれた場合には修正してください。直接数値を記入していただいても構いません)。
16. 「シラバス等のページ」については、シラバス等の授業計画を記載した冊子中の該当ページを記入してください。

## 別紙様式 1－2－2

金沢大学大学院法学研究科法務専攻

### 基準 1－2 教育活動等を展開する上で必要な教員等が適切に配置されているとともに、必要な運営体制が適切に整備されていること

分析項目 1－2－2 法科大学院の運営に関する重要事項を審議する会議（以下「教授会等」という。）及び専任の長が置かれ、必要な活動を行っていること

※「法科大学院の運営に関する重要事項」とは、法科大学院の教育課程、教育方法、成績評価、修了認定、入学者選抜及び教員の人事等に関する重要事項をいう。

#### 【分析の手順】

- ・教授会等について、構成、所掌事項等を確認する。
- ・教授会等の規程上の開催頻度と前年度における開催実績を確認する。

教授会等の規程上の開催頻度と前年度における開催実績一覧（別紙様式 1－2－2）

会議等名称	規程上の開催頻度	前年度における開催実績
法学研究科法務専攻会議	月 1 回定例（8 月を除く）	計 21 回開催（うち書面附議 8 回）
法学研究科会議	月 1 回定例（8 月を除く）	計 10 回開催（うち書面附議 0 回，5 月は審議すべき案件がなく不開催）

## 別紙様式 1－2－5

金沢大学大学院法学研究科法務専攻

### 基準 1－2 教育活動等を展開する上で必要な教員等が適切に配置されているとともに、必要な運営体制が適切に整備されていること

分析項目 1－2－5 管理運営に従事する教職員の能力の質の向上に寄与するため、スタッフ・ディベロップメント（SD）を実施していること

※「スタッフ・ディベロップメント（SD）」とは、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けるとともに、その他必要な取組を行うことをいう。

#### 【分析の手順】

- ・SDの実施内容・方法及び実施状況（参加状況を含む。）を確認する。

#### SDの実施内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式 1－2－5）

研修会等の名称	主催	実施内容・方法	対象者	法科大学院からの 参加者数
令和 3 年度新任教員説明会	金沢大学	<b>【実施日】</b> 令和 3 年 4 月 2 日 <b>【実施内容】</b> ①本学の基本理念・目標，基本方針等の説明 ②各理事等の所掌業務に係る重要課題等 ③ハラスメント防止研修 <b>【実施方法】</b> 対面	<input type="checkbox"/> 役員 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 事務職員	1 人
令和 3 年度ダイバーシティ管理職研修 （管理職）	金沢大学	<b>【実施日】</b> 令和 3 年 11 月 19 日 <b>【実施内容】</b> 「大学教員が育児休業を取得しやすい雰囲気	<input type="checkbox"/> 役員 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	2 人



		の醸成」(外部講師による講演) 【実施方法】 対面・オンライン併用		
第 1 回 LGBTQ 勉強会	金沢大学	【実施日】 令和 3 年 9 月 15 日 【実施内容】 ① 金沢大学学生団体「SELF」講演 (20 分) ② 映画「カランコエの花」視聴 (40 分程度) ③ ①、②を通じてグループディスカッション 【実施方法】 対面	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	2 人
第 2 回 LGBTQ 勉強会	金沢大学	【実施日】 令和 3 年 11 月 10 日 【実施内容】 ① 金沢大学学生団体「SELF」講演 「金沢プライドウィーク 2021 を終えて」 ② 金沢プライドパレード 2021 参加者の感想 ③ 参加者によるグループディスカッション 【実施方法】 対面またはオンライン	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	3 人
第 3 回 LGBTQ 勉強会	金沢大学	【実施日】 令和 3 年 12 月 16 日	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員	3 人

		<b>【実施内容】</b> ① 本学教員による講演 ② 参加者によるグループディスカッション <b>【実施方法】</b> 対面またはオンライン	■ 事務職員	
令和 3 年度第 4 回全学 FD 研修会	金沢大学	<b>【実施日】</b> 令和 3 年 10 月 29 日 <b>【実施内容】</b> ① 各学類からの FD 活動報告 ② 全体討論 <b>【実施方法】</b> オンライン	■ 役員 ■ 教員 ■ 事務職員	2 人
2021 年度情報セキュリティ研修 e ラーニング	金沢大学	<b>【実施日】</b> 令和 3 年 4 月 12 日～令和 3 年 6 月 30 日 <b>【実施内容】</b> ① テストで学ぶ情報セキュリティ ② 利用パソコン自己点検 <b>【実施方法】</b> e-ラーニング	■ 役員 ■ 教員 ■ 事務職員	53 人
標的型攻撃メール疑似体験	金沢大学	<b>【実施日】</b> 令和 3 年 10 月 19 日～令和 3 年 11 月 30 日	■ 役員 ■ 教員	51 人

		<b>【実施内容】</b> 標的型攻撃メールでランサムウェアに感染した場合の疑似体験及び学習 <b>【実施方法】</b> e-ラーニング	■事務職員	
令和 3 年度「法人文書管理」に関する研修	金沢大学	<b>【実施日】</b> 令和 3 年 7 月 19 日～令和 3 年 9 月 30 日 <b>【実施内容】</b> ①総括文書管理者の心構えと役割 ②文書管理者の心構えと役割 ③文書管理の基礎的な留意点 <b>【実施方法】</b> e-ラーニング	■役員 ■教員 ■事務職員	35 人
令和 3 年度「個人情報の適切な管理」に関する研修	金沢大学	<b>【実施日】</b> 令和 3 年 6 月 4 日～令和 3 年 7 月 30 日 <b>【実施内容】</b> ①個人情報の適切な管理について <b>【実施方法】</b> e-ラーニング	■役員 ■教員 ■事務職員	43 人

## 基準 1－3 法科大学院の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること

分析項目 1－3－1 法令により公表が求められている事項を公表していること

## 【分析の手順】

- ・法科大学院の目的、方針その他法令が定める教育研究活動等についての情報を、社会に対し、刊行物の配布、ウェブサイトへの掲載等の方法により広く公表していることを確認する。

法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧（別紙様式 1－3－1）

※ 公表状況について、ウェブサイトで公表している場合は、その情報が掲載されているウェブページが直接閲覧できる URL を記載してください。ウェブサイト以外で公表している場合は、URL ではなく具体的な公表方法を記載してください。

※ 他の法令等の箇所において記載してもらった場合には、「公表状況」欄において該当 No を記載しています。

No	公表が求められている事項(法令の条文等抜粋)		公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL 等））
《学校教育法 第 109 条》			
1	第 1 項	大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備（次項及び第五項において「教育研究等」という。）の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。	<a href="https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/management/evaluation">https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/management/evaluation</a>
《学校教育法施行規則 第 158 条》			
2		学校教育法第百二条第二項の規定により学生を入学させる大学は、同項の入学に関する制度の運用の状況について、同法第百九条第一項に規定する点検及び評価を行い、その結果を公表しなければならない。	※該当する場合のみ記載 全学的に該当例がないため
《学校教育法施行規則 第 172 条の 2》			
3	第 1 項	大学は、次に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を公表するものとする。	

4	一 大学の教育研究上の目的及び第百六十五条の二第一項の規定により定める方針に関すること	<a href="https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku">https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku</a>
5	二 教育研究上の基本組織に関すること	<a href="https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku">https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku</a>
6	三 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること	<a href="https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku">https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku</a> 特に専任教員に関しては、 <a href="https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/staff/index.html">https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/staff/index.html</a>
7	四 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること	<a href="https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku">https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku</a>
8	五 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画（大学設置基準第十九条の二第一項（大学院設置基準第十五条において読み替えて準用する場合を含む。）、専門職大学設置基準第十一条の二第一項、専門職大学院設置基準第六条の三第一項、短期大学設置基準第五条の二第一項及び専門職短期大学設置基準第八条の二第一項の規定により当該大学が自ら開設したものとみなす授業科目（次号において「連携開設科目」という。）に係るものを含む。）に関すること	<a href="https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku">https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku</a>
9	六 学修の成果に係る評価（連携開設科目に係るものを含む。）及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること	※No17～18 に記載
10	七 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること	<a href="https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku">https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku</a>
11	八 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること	※No25 に記載
12	九 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること	<a href="https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku">https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/kyoiku</a>

13	第 2 項	専門職大学等及び専門職大学院を置く大学は、前項各号に掲げる事項のほか、学校教育法第八十三条の二第二項、第九十九条第三項及び第百八条第五項の規定による専門性が求められる職業に就いている者、当該職業に関連する事業を行う者その他の関係者との協力の状況についての情報を公表するものとする。	<a href="https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/education/support.html">https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/education/support.html</a>
14	第 4 項	大学は、前各項に規定する事項のほか、教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報を積極的に公表するよう努めるものとする。	※No16 に記載
《法科大学院の教育と司法試験等との連携に関する法律第 5 条》			
15		法科大学院を設置する大学は、当該法科大学院における教育の充実及び将来の法曹としての適性を有する多様な入学者の確保に資するため、次に掲げる事項を公表するものとする。	
16		一 当該法科大学院の教育課程並びに当該教育課程を履修する上で求められる学識及び能力	<a href="https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
17		二 当該法科大学院における成績評価の基準及び実施状況	<a href="https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
18		三 当該法科大学院における修了の認定の基準及び実施状況	<a href="https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
19		四 当該法科大学院の課程を修了した者の進路に関する状況	<a href="https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
20		五 その他文部科学省令で定める事項	※No22～27 に記載
《専門職大学院設置基準 第 20 条の 7》			
21		連携法第五条第五号の文部科学省令で定める事項は、次に掲げるものとする。	
22		一 入学者選抜における志願者及び受験者の数その他入学者選抜の実施状況に関すること	<a href="https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>

23	二 当該法科大学院に入学した者のうち標準修業年限以内に修了した者の占める割合及び年度当初に当該法科大学院に在籍した者のうち当該年度途中で退学した者の占める割合	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
24	三 当該法科大学院が開設する授業科目のうち基礎科目若しくは応用科目又は選択科目として開設するものの名称	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
25	四 授業料、入学料その他の当該法科大学院が徴収する費用及び修学に係る経済的負担の軽減を図るための措置に関すること	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
26	五 当該法科大学院に入学した者のうち連携法第十条第一号又は第二号に該当していた者それぞれの占める割合及びこれらの号に該当していた者（当該法科大学院の課程を修了した者又は同課程に在学する者に限る。）であって、司法試験法（昭和二十四年法律第百四十号）第一条第一項に規定する司法試験（以下単に「司法試験」という。）を受けたもののうち当該試験に合格したものの占める割合	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
27	六 連携法第六条第一項の認定を受けた同項の法曹養成連携協定（第二十条の八第二項において「認定法曹養成連携協定」という。）の目的となる法科大学院（以下「認定連携法科大学院」という。）にあっては、当該認定連携法科大学院に入学した者のうち当該認定連携法科大学院における教育との円滑な接続を図るための大学の課程（以下「認定連携法曹基礎課程」という。）を修了して当該認定連携法科大学院に入学した者の占める割合及び当該認定連携法曹基礎課程を修了して当該認定連携法科大学院に入学した者（当該認定連携法科大学院の課程を修了した者又は同課程に在学する者に限る。）であって、司法試験を受けたもののうち当該試験に合格したものの占める割合	※該当する場合は、別紙様式 1－3－2 に記載（当様式には記載不要）

## 基準 1－3 法科大学院の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること

分析項目 1－3－2 法曹養成連携協定を締結している場合は、法曹養成連携協定に関連して法令により公表が求められている事項を公表していること

## 【分析の手順】

- ・法曹養成連携協定に関連して法令が定める教育研究活動等についての情報を、社会に対し、刊行物の配布、ウェブサイトへの掲載等の方法により広く公表していることを確認する。

法曹養成連携協定に関連して法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧（別紙様式 1－3－2）

※ 公表状況について、ウェブサイトで公表している場合は、その情報が掲載されているウェブページが直接閲覧できる URL を記載してください。ウェブサイト以外で公表している場合は、URL ではなく具体的な公表方法を記載してください。

※ 他の法令等の箇所において記載してもらう場合には、「公表状況」欄において該当 No を記載しています。

No	公表が求められている事項(法令の条文等抜粋)		公表状況(刊行物、ウェブサイト(URL 等))
《専門職大学院設置基準 第 20 条の 7》			
1	第 1 項	六 連携法第六条第一項の認定を受けた同項の法曹養成連携協定（第二十条の八第二項において「認定法曹養成連携協定」という。）の目的となる法科大学院（以下「認定連携法科大学院」という。）にあっては、当該認定連携法科大学院に入学した者のうち当該認定連携法科大学院における教育との円滑な接続を図るための大学の課程（以下「認定連携法曹基礎課程」という。）を修了して当該認定連携法科大学院に入学した者の占める割合及び当該認定連携法曹基礎課程を修了して当該認定連携法科大学院に入学した者（当該認定連携法科大学院の課程を修了した者又は同課程に在学する者に限る。）であって、司法試験を受けた	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>



No	公表が求められている事項(法令の条文等抜粋)	公表状況(刊行物、ウェブサイト(URL 等))
	もののうち当該試験に合格したものの占める割合	
《法曹養成連携協定に関する運用ガイドライン 5 その他法科大学院に求められる事項 (1) 法科大学院の教育課程等の公表》		
2	① 教育課程並びに当該教育課程を履修する上で求められる学識及び能力	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a> <a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/idea.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/idea.html</a>
3	② 成績評価の基準及び実施状況	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
4	③ 修了認定の基準及び実施状況	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
5	④ 司法試験法第4条第2項第1号の規定による認定の基準及び実施状況	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a> ※2022年度においては、認定の基準のみ公表対象。基準は決定済みだが、ウェブサイトは作業中。
6	⑤ 修了者の進路に関する状況	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a> <a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/graduates/index.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/graduates/index.html</a>
7	⑥ 志願者及び受験者の数その他入学者選抜の実施状況に関すること	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a> <a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/admission/nyushikekka.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/admission/nyushikekka.html</a>
8	⑦ 標準修業年限修了率及び中退率	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a> <a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/education/mark.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/education/mark.html</a>
9	⑧ 法律基本科目のうちの基礎科目及び応用科目並びに各選択科目にそれぞれ該当する、法科大学院で開設される科目	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a> <a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/education/curri.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/education/curri.html</a>
10	⑨ 授業料等、法科大学院が徴収する費用や修学に係る経済的負担の軽減を図るための措置	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
11	⑩ 社会人・法学未修者の入学者の割合とそれらの司法試験合格率	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>
12	⑪ 文部科学大臣が認定した法曹養成連携協定の目的となる連携法科大学院(以下「認定連携法科大学院」という。)に入学した者のうち、当該協定の目的となる法曹コース(以下「認定法曹コー	<a href="https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html">https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/outline/kohyo.html</a>

別紙様式 1－3－2

金沢大学大学院法学研究科法務専攻

No	公表が求められている事項(法令の条文等抜粋)	公表状況(刊行物、ウェブサイト(URL 等))
	ス』という。)からの入学者の割合とその司法試験合格率	
13	⑫ 在学中受験資格による司法試験の受験者数とその合格率	※2022 年度においては、公表対象外（在学中受験は 2023 年度から実施されるため）

## 別紙様式 2－1－1

金沢大学大学院法学研究科法務専攻

**基準 2－1（重点評価項目） 教育活動等の状況について自己点検・評価し、その結果に基づき教育活動等の質の維持、改善及び向上に継続的に取り組むための体制が明確に規定されていること**

分析項目 2－1－1 法科大学院における教育活動等の質及び学生の学習成果の水準について、継続的に維持、改善及び向上を図るための体制を整備していること

### 【分析の手順】

- ・自己点検・評価の実施に責任を持つ組織及び責任者の役職名（大学における最終的な責任者が学長であることを前提として、法科大学院における教育活動等の質保証に関して最終的な責任をもつ者）が定められていることを確認する。
- ・教育課程、入学者の受入れ、施設及び設備、学生支援等について責任を持つ組織と、自己点検・評価の責任者との連携の状況（委員会等の組織の名称と体制。複数の組織が共同して行う場合はすべてを記載）を確認する。

責任体制等一覧（別紙様式 2－1－1）

確認すべき要素	法科大学院における状況	根拠規定
自己点検・評価の実施に責任を持つ組織	法務専攻会議（認証評価基準への適合性審査等につき点検評価委員会が補佐）	金沢大学大学院法学研究科法務専攻会議細則 2 条, 5 条
自己点検・評価の実施にかかる責任者の役職名	法務専攻長（点検評価委員長を兼務）	金沢大学大学院法学研究科法務専攻会議細則 2 条, 5 条
教育課程について責任を持つ組織と自己点検・評価の責任者との連携状況	教務・学生委員会が審議を行うが、必要に応じて学生支援・カリキュラム・FD委員会等と合同会議を開催するなどして連携する。案がまとまると、法務専攻会議に付議される。その際、点検評価委員会は適宜意見等を述べる。法学研究科会議細則により法学研究科会議で審議すべき案件についてはその後法学研究科会	金沢大学大学院法学研究科会議細則 7 条 金沢大学大学院法学研究科法務専攻会議細則 2 条, 5 条, 6 条, 7 条

	議に上程され, 審議される。同案件については法学研究科会議が, それ以外の事項については法務専攻会議が責任組織となる。	
入学者の受入れについて責任を持つ組織と自己点検・評価の責任者との連携状況	入試・広報委員会が審議を行い, 法務専攻会議に付議する。その際, 点検評価委員会は適宜意見等を述べる。法学研究科会議細則により法学研究科会議で審議すべき案件についてはその後法学研究科会議に上程され, 審議される。同案件については法学研究科会議が, それ以外の事項については法務専攻会議が責任組織となる。	金沢大学大学院法学研究科会議細則 7 条 金沢大学大学院法学研究科法務専攻会議細則 2 条, 5 条, 8 条
施設設備について責任を持つ組織と自己点検・評価の責任者との連携状況	法科大学院図書室及び法情報実習室に関する案件は図書委員会が, それ以外の施設に関する案件は施設委員会が, 予算に関する案件は予算委員会が審議を行うが, 必要に応じて各委員会(教務・学生委員会, 学生支援・カリキュラム・FD委員会を含む)が連携する。案がまとまると, 法務専攻会議に付議される。その際, 点検評価委員会は適宜意見等を述べる。法学研究科会議細則により法学研究科会議で審議すべき案件についてはその後法学研究科会議に上程され, 審議される。同案件については法学研究科会議が, それ以外の事項については法務専攻会議が責任組織となる。	金沢大学大学院法学研究科会議細則 7 条 金沢大学大学院法学研究科法務専攻会議細則 2 条, 5 条, 9 条, 10 条, 11 条
学習支援について責任を持つ組織と自己点検・評価の責任者との連携状況	学生支援・カリキュラム・FD委員会が審議を行うが, 必要に応じて教務・学生委員会等と合同会議を開催するなどして連携する。案がまとまると, 法務専攻会議に付議される。その際, 点検評価委員会は適宜意見等を述べる。法学研究科会議細則により法学研究科会議で審議すべき案件についてはその後法学研究科会	金沢大学大学院法学研究科会議細則 7 条 金沢大学大学院法学研究科法務専攻会議細則 2 条, 5 条, 6 条, 7 条

	議に上程され, 審議される。同案件については法学研究科会議が, それ以外の事項については法務専攻会議が責任組織となる。	
--	--	--

別紙様式 2－1－2

金沢大学大学院法学研究科法務専攻

基準 2－1（重点評価項目） 教育活動等の状況について自己点検・評価し、その結果に基づき教育活動等の質の維持、改善及び向上に継続的に取り組むための体制が明確に規定されていること

分析項目 2－1－2 教育課程連携協議会が設けられていること

【分析の手順】

- ・関係法令に則して教育課程連携協議会が設置されていることを確認する。

教育課程連携協議会の規程上の開催頻度と前年度における開催実績一覧（別紙様式 2－1－2）

規程上の開催頻度	前年度における開催実績
毎年度少なくとも 1 回開催	2022 年 3 月 3 日（木）14 時から 委員：下井康史（千葉大学大学院専門法務研究科長）、早川潤（弁護士（金沢弁護士会））、中田千香（加賀市弁護士（金沢弁護士会））、尾島茂樹（金沢大学大学院法学研究科法務専攻長）

## 別紙様式 2－2－1

金沢大学大学院法学研究科法務専攻

**基準 2－2（重点評価項目） 教育活動等の状況について自己点検・評価を行うための手順が明確に規定され、適切に実施されていること**

分析項目 2－2－1 自己点検・評価を実施するための評価項目が適切に設定されていること

**【分析の手順】**

- ・自己点検・評価を実施するための評価項目が各法科大学院の実情に応じて適切に設定されていることを確認する。

分析項目 2－2－2 自己点検・評価に当たっては、具体的かつ客観的な指標・数値を用いて教育の実施状況や教育の成果が分析されていること

**【分析の手順】**

- ・自己点検・評価の実施に当たり、司法試験合格率、共通到達度確認試験の成績、標準修業年限内修了率、留年率等の具体的かつ客観的な指標・数値を用いて分析が行われていることを確認する。

分析項目 2－2－3 自己点検・評価に当たっては、共通到達度確認試験の成績等も踏まえ、法学未修者に対する教育の実施状況及び教育の成果が分析されていること

**【分析の手順】**

- ・共通到達度確認試験の成績等を踏まえて法学未修者の教育の実施状況について点検・評価を実施していることを確認する。

**基準 2－4（重点評価項目） 教育活動等の状況についての自己点検・評価に基づき教育の改善・向上の取組が行われていること**

分析項目 2－4－1 教育活動等の状況についての自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画について、計画に基づいて取組がなされ、実施された取組の効果が検証されていること

**【分析の手順】**

- ・教育活動等の状況についての自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画について、実施状況及び成果を確認する。

自己点検・評価の実施状況が確認できる資料（過去 5 年分）（別紙様式 2 - 2 - 1）

組織の名称	自己点検・評価において改善・向上等の対応措置が必要とされた事項				対応計画	計画の 進捗状況	前回評価の 指摘事項
	年月	評価項目	内容	分析の状況			
No. 001 学位授与機構	2018. 03	学生の受け入れに関する こと	・ 標準コースにおいて入 学者の能力が適確・客観 的に評価されていない ・ 小論文試験の在り方の 再検討が必要である	小論文試験等を改善 することにより入学 者の能力を適確に計 る	・ 小論文試験に合格 最低点を導入する	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 002 学位授与機構	2018. 03	学生の教育に関すること	学業不振の未修者が恒常 的に存在する	原級留置率の改善が 急務である	・ 金沢弁護士会の協 力で未修者チュータ ーを開始 ・ 基礎演習の創設 ・ 入学前学習会の始 動	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 003 学位授与機構	2018. 03	司法試験受験に関するこ と	司法試験合格率向上のた めの抜本的方策が必要で ある	学生のレベルの底上 げが必要である	・ 金沢弁護士会支援 委員会との連携で各 種の学修支援制度 ・ 弁護士チューター の利用促進を学生に 呼びかける	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 004 学位授与機構	2018. 03	学生の教育に関すること	・ 特定の科目において範 囲外の内容の課題が出て いた ・ 成績評価の方式につい て全教員に周知徹底する 必要がある	科目の内容を組織的 に確認する	・ 教務関係要領を改 めて全教員に通知 ・ シラバスチェック をさらに徹底	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 005 学位授与機構	2018. 03	学生の教育に関すること	成績評価に関するデータ が兼任教員に積極的に共	兼担・兼任教員が成 績評価データを見や	・ 議事録送付等案内 の強化	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	<input checked="" type="checkbox"/>



## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

構			有されていない	すい制度にする必要がある	・教務関係要領に明記して通知 ・法学研究科発足以降，法学研究科会議での報告	<input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
No. 006 学位授与機構	2018. 03	学生の受け入れに関する こと	定員充足率，入学者数の改善が必要である	受験しやすい入試制度にする，また辞退率を減少させる必要がある	・専門科目試験から行政法を削除 ・「入学意思確認書」制度の創設 ・社会人特別選抜制度，法学類特別選抜制度の創設	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 007 学位授与機構	2018. 03	学生の受け入れに関する こと	標準コースの競争倍率がほぼ 1 倍であり，選抜が機能していない。抜本的な改善措置を速やかに講ずる必要である	受験者を増やす取り組みが必要である	・「入学前学習会」の始動 ・広報の強化	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 008 学位授与機構	2018. 03	学生の受け入れに関する こと	法科大学院において教育を受けるために必要な入学者の適性・能力を測る最低限度の到達度が明確にされていない	AP の明確化が必要である	AP を加筆し，学生募集要項の記述も見直した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 009 学位授与機構	2018. 03	学生の受け入れに関する こと	特定の科目において，科目適合性が認められない教員が担当している	科目適合性ある教員による授業に切り替える必要がある	学生に説明したうえで，急遽非常勤講師を手配して授業をやり直した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 010	2021. 01	学生の教育に関する こと	在学中受験を認めるため	在学中受験を認める	在学中受験を認める	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/>

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

教育課程連携協議会			の要件が専門職大学院設置基準よりも厳しい	ための要件の再検討が必要である	ための数値は専門職大学院設置基準に揃えることとした	<input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
No. 011 教育課程連携協議会	2021. 01	学生の教育に関する事	司法試験選択科目に該当する科目は4単位開講することが望ましい	可能な限り4単位開講する必要がある	四大学連携の始動により、司法試験選択科目についてはすべて4単位開講できるようになった	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 012 教育課程連携協議会	2022. 03	司法試験受験に関する事	司法試験合格率の改善が必要である	学生のレベルの底上げが必要である	・金沢弁護士会支援委員会との連携で各種の学修支援制度 ・弁護士チューターの利用促進を学生に呼びかける	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 013 教育課程連携協議会	2022. 03	学生の教育に関する事	標準年限修了率の改善が必要である	学生が落ちこぼれない学習支援策が必要である	・金沢弁護士会の協力で未修者チューターを開始 ・基礎演習の創設 ・入学前学習会の始動 ・弁護士チューターの利用促進を学生に呼びかける	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 014 教育課程連携協議会	2022. 03	学生の受け入れに関する事	社会人入学者の増加が必要である	多様なバックグラウンドを持つ学生の受け入れを進める	すでに導入されている社会人特別入試制度を検証し、改善につなげる	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/>

						( )	
No. 015 教育課程連 携協議会	2022. 03	その他法務専攻の運営及 び教育課程の改善のため 必要な事項	組織内弁護士を増加させ るという目標について、 あり方を検討すべきでは ないか	いわゆるインハウス ロイヤーの増加のた めの取り組みの検討 をする	インターンシップな どの取り組みは行っ ているが、法科大学 院として対応するこ とは困難であること が確認された	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 016 FD 意見交換 会	2019. 07 2021. 09	学生の教育に関すること	教員が行うこととチュー ターが行うことが一部重 複している	共通到達度確認試験 対策などにおいて重 複している	検討を重ねるが、複 数回行うことで実力 が付くといった積極 的意見もある	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 017 FD 意見交換 会	2019. 07	学生の教育に関すること	論文式試験の指導を丁寧 に行う必要がある	教員により方針に若 干のずれがあるほ か、1 年次でも定期 試験に向けて書く練 習をする必要がある	最終ゴールとしての 司法試験を意識した 教育が必要であるこ とを専任教員間で再 確認した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 018 FD 意見交換 会	2020. 08	学生の教育に関すること	コロナ禍においてオフィ スアワーを実質化する	登学を避ける学生に とっては研究室の開 放は有益でない	オフィスアワー時間 中、Discord（オン ライン）も接続する ようにする	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 019 FD 意見交換 会	2021. 07 2022. 01	学生の教育に関すること	チューターの利用を活発 にする必要がある	司法試験合格率を上 げるためにも、学習 支援を学生が積極的 に使う必要がある	・アドバイス教員面 談において利用の有 無を聴取し、利用し ていない場合は積極 的な利用を勧める ・ガイダンス時等で	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>

					も積極的な利用を呼びかける		
No. 020 FD 意見交換会	2022. 01	学生の教育に関すること	自主ゼミを活発にする必要がある	司法試験合格率を上げるためにも、学生が自主ゼミを組む雰囲気を作る必要がある	・アドバイス教員面談において自主ゼミ実施の有無を聴取し、行っていない場合は教員が適宜アドバイスする	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 021 千葉大学合同 FD	2021. 03	学生の教育に関すること	短答式試験・共通到達度確認試験対策を充実させる必要がある	学生が論文式試験だけでなく短答式試験にも十分注力するように意識付けする必要がある	修了生に話してもらうなど、学生の意識付けを行う方策について意見交換した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 022 千葉大学合同 FD	2021. 03	学生の受け入れに関すること	専門科目試験の質を向上させる	専門科目試験においてさらに良問を作っていく必要がある	問題をチェックしてもらい、意見をもらった。概ね良好という意見であった	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 023 筑波大学合同 FD	2021. 07	学生の教育に関すること	模擬裁判の実質化	人数が少ないため模擬裁判の開講が難しくなっている	・筑波との刑事模擬裁判の共同開講の可否について、文部科学省の意向等も確認しつつ模索する ・金沢側では、SA を動員することができるよう制度的に手当てした (SA 実施要項の改正)	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>

## 別紙様式 2 - 2 - 1

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

No. 024 千葉大学合同 FD	2022. 03	学生の受け入れに関する こと	専門科目試験の質を向上 させる	専門科目試験においてさらに良問を作っ ていく必要がある	問題をチェックして もらい、意見をもら った。概ね良好とい う意見であった	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 025 千葉大学合同 FD	2022. 03	学生の教育に関する こと	学年横断的な学修支援を 行う必要がある	司法試験合格率を上 げるためにも、学生 間の縦の交流を促進 する	FD においてその方策 を議論、また折に触 れ学生への意識付け を行う	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 026 外部評価委 員会	2021. 03	学生の受け入れに関する こと	定員充足率が芳しくない	受験しやすい入試制 度にする、また辞退 率を減少させる必要 がある	・ここまでにとった 入試制度改革を検証 し、さらに受験生を 増やす取り組みを行 う ・コロナ禍に合った 入試広報の仕組みを 検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 027 外部評価委 員会	2021. 03	学生の受け入れに関する こと	法学類との連携を強化す べきである	法学類の優秀な学生 を入学させるための 取り組みが必要であ る	・法務専攻教員が担 当する新たな科目を 法学類に設置 ・特別選抜制度の導 入 ・法学類教員の協力 のもと、法曹コース の積極的な PR	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 028 教務・学生	2017. 05	学生の教育に関する こと	CAP の修正が必要である	2 年次について CAP が認証評価基準と整	・研究科規程の改正 ・一部科目の開講期	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	<input type="checkbox"/>

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

委員会				合的でなかった	変更	<input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
No. 029 図書委員会	2017. 05	その他法務専攻の運営及び教育課程の改善のため必要な事項	持ち出し防止ゲートの稼働が必要である	図書の持ち出し防止措置が必要である	3月に設置した持ち出し防止ゲートを本格稼働させた	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 030 法務研究科会議	2017. 06	学生の学習支援に関すること	学生指導の在り方に関する検討が必要である	学生指導の実効性を高める必要がある	実務家教員が中心となり学生指導の在り方を検討する委員会を設置した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 031 教務・学生委員会	2017. 07	学生の教育に関すること	休学者等の施設利用のあり方の検討が必要である	休学者も自習室等の施設を使えるようにした方が司法試験合格率向上に資するのではないか	休学者も自習室の利用ができるよう制度改正した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 032 入試・広報委員会	2017. 10	学生の受け入れに関すること	適性試験任意化に対する対応する必要がある	適性試験任意化後の入試の在り方を考える必要がある	・適性試験を出願資格から除外 ・「自己評価書」導入	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 033 FD 研修会	2017. 10	学生の教育に関すること	法学入門の在り方の再検討が必要である	法学入門の内容が1年次生にも2年次生にもどっちつかずになっている	2018年度から実務家を中心とした講義に変更した (その後CAP緩和などの目的で2020年	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>

					度入学生をもって廃止)		
No. 034 入試・広報委員会	2017. 10	学生の受け入れに関する こと	入試における客観性の担保が必要である	入試制度の向上の一環として、客観性を担保する必要がある	配点・採点基準の公表ならびに出題内容のチェック体制の構築を行った	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 035 教務・学生委員会	2017. 10	学生の学習支援に関する こと	修了者へのアドバイス教員制度拡充が必要である	司法試験合格率向上のために、修了者にも継続的に指導を続けるべきである	アドバイス教員制度を当該年度以降の修了生にも拡充した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 036 FD 研修会 入試・広報委員会	2017. 10 2017. 12	学生の受け入れに関する こと 学生の学習支援に関する こと	辞退者を減少させる工夫 未修者の教育充実が必要である	入試の辞退者を減少させる方策が必要 標準コース入学者がスムーズに授業についていけるようになる方策が必要である	入学前学習会を開始した (以後毎年度 12 月に実施。一部年度はオンライン対応)	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 037 法務研究科 会議	2017. 12	学生の教育に関する こと	成績分布の非常勤教員との共有が必要である	各科目の成績分布について非常勤教員への周知が十分でなかった	・議事録送付等案内の強化 ・教務関係要領に明記して通知 ・法学研究科発足以降、法学研究科会議での報告	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 038 法務研究科 会議	2018. 01	その他法務専攻の運営及び教育課程の改善のため 必要な事項	筑波大学との連携の検討が必要である	筑波科目との単位互換により教育の可能性を拡充する	単位互換協定を締結した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/>

						<input type="checkbox"/> その他 ( )	
No. 039 法務研究科 会議	2018. 01	学生の学習支援に関する こと	TKC サービス利用料の研究 科負担の検討が必要で ある	学生の就学に関する 負担の軽減が必要で ある	TKC 利用料（学生 分）を研究科で負担 するよう制度変更し た	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 040 カリキュラ ム・FD 委員 会	2018. 02	学生の教育に関すること	カリキュラム改定の検討 が必要である	CAP と抵触する恐れ のない、学生にとっ て余裕のあるカリキ ュラムにする必要で ある	科目分割を伴うカリ キュラム改定の提案 行政法の 2 年次への 移動を実施した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (一部廃案)	<input type="checkbox"/>
No. 041 法務専攻会 議	2018. 02	学生の受け入れに関する こと	入試の指標の確認が必要 である	自己点検・評価の一 環として、D 日程入 試の合格判定と併せ て当該年度全体の入 試倍率等を確認する	確認の上意見交換し た	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 042 法務研究科 会議	2018. 02- 03	学生の学習支援	学生参加イベントの企画 の検討が必要である	法曹への動機付けを 学生に促すための参 加イベントを企画す ることが必要である	検察庁体験プログラ ムならびに千葉地裁 裁判員傍聴を企画・ 実施した (以後、毎年度実 施。ただし新型コロ ナウイルス感染症の 影響で開催できなか った年度もあり)	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 043 法務研究科	2018. 03	その他法務専攻の運営及 び教育課程の改善のため	インターンシップ協定の 締結を検討する必要があ	修了生の職域拡大を 図る必要がある	中村留精密工業株式 会社とのインターン	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	<input type="checkbox"/>



## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

会議		必要な事項	る		シップ協定を締結した (以後、コロナ禍により廃止した)	<input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
No. 044 法務研究科 会議	2018. 03	その他法務専攻の運営及び教育課程の改善のため必要な事項	他機関との連携を検討する必要がある	教育向上ないし受験者増加のための取り組みを行う	信州大学経法学部との包括連携協定を締結した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 045 法務研究科 会議	2018. 03	その他法務専攻の運営及び教育課程の改善のため必要な事項	法学類との連携強化をする必要がある	法学類の優秀な学生に入学してもらう必要がある	法学類と共同の委員会を立ち上げた その後、連携協定の締結およびリーガル・プロフェッション・プログラムを始動させた	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 046 法務研究科 会議	2018. 03	学生の教育に関すること	定期試験結果等を確認する必要がある	自己点検・評価の一環として学生の学修状況を確認する	定期試験の成績分布を確認し、併せて原級留置者等の状況について確認した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 047 法務研究科 会議	2018. 05	学生の教育に関すること	共通到達度確認試験施行試験結果を確認する必要がある	教育活動の自己評価の一環として共通到達度確認試験を活用する	試験結果を確認して意見交換した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 048 教務・学生	2018. 05	学生の教育に関すること	インターンシップの単位化の検討が必要である	修了生の職域拡大を図る必要がある	加賀市議会とのインターンシップに単位	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	<input type="checkbox"/>

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

委員会					を与えることとし、 履修のインセンティブ付与を行った	<input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
No. 049 入試・広報 委員会	2018. 06	学生の受け入れに関する こと	特筆すべき資格の変更の 検討が必要である	一定の経験を持った 受験生に金沢大学を 受験してもらえるよ うな制度にする必要 がある	司法試験・予備試験 の択一試験合格、行 政書士、国家公務員 試験一般職を特筆す べき資格に加えるな どの変更を行った	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 050 法務研究科 会議	2018. 07	学生の教育に関すること	新たな科目の設置の検討 が必要である	司法試験合格率向上 のため未修者教育の さらなる充実を図る 必要がある	「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」 並びに「法教育実 習」を新設した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 051 FD 研修会	2018. 09	学生の教育に関すること	未修者教育の充実の検討 が必要である	法学入門、基礎演習 の内容調整が必要	法学入門を実務家によ る講義を中心とし たものに変更にする に伴い、基礎演習の 内容を調整したうえ で確定させた (その後法学入門は 廃止され、その内容 の一部が基礎演習に 引き継がれる)	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 052 入試・広報 委員会	2018. 09	学生の受け入れに関する こと	小論文試験合格最低点の 設定が必要である	標準コース入試を実 効的に機能させる必 要がある	小論文試験に合格最 低点を設定した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/>

						( )	
No. 053 法務研究科 会議	2018. 09	その他法務専攻の運営及 び教育課程の改善のため 必要な事項	インターンシップ協定の 締結の検討が必要である	修了生の職域拡大を 図る必要がある	株式会社 PFU とのイ ンターンシップ協定 を締結した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 054 教務・学生 委員会	2018. 11	学生の学習支援に関する こと	アドバイス面談質問項目 の検討が必要である	アドバイス面談をよ り実効的にする必要 がある	アドバイス面談にお ける質問項目を精 査・改定した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 055 教務・学生 委員会	2019. 01	学生の教育に関すること	共通到達度確認試験成績 の利用方法の検討が必要 である	共通到達度確認試験 の成績を進級判定資 料として活用するた めの制度設計が必要 である	共通到達度確認試験 の成績優秀者につ き、必修科目を落と していても特例で2 年次への履修を認め ることとした	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 056 法務研究科 会議	2019. 02	その他法務専攻の運営及 び教育課程の改善のため 必要な事項	教育課程連携協議会の設 置が必要である	法令等に基づき設置 が求められる	要項等を議決して設 置した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 057 法務専攻会 議	2019. 02	学生の受け入れに関する こと	入試の指標の確認が必要 である	自己点検・評価の一 環として、D 日程入 試の合格判定と併せ て当該年度全体の入 試倍率等を確認する	確認の上意見交換し た	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 058	2019. 03	学生の受け入れに関する	入試問題のチェックが必	入試問題が相応しい	千葉大学との合同 FD	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/>

## 別紙様式 2 - 2 - 1

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

法務研究科 会議		こと	要である	ものであるか他者によるチェックを受ける	で本学入試問題を検討してもらう (以後、毎年度実施)	<input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
No. 059 法務研究科 会議	2019. 03	学生の教育に関すること	定期試験結果等の確認が必要である	自己点検・評価の一環として学生の学修状況を確認する	定期試験の成績分布を確認し、併せて原級留置者等の状況について確認した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 060 教務・学生 委員会	2019. 03	学生の学習支援に関する こと	一橋大学進級判定試験の 活用の検討が必要である	教育向上、学生の理解度向上を図る必要がある	一橋大学から進級試験問題の提供を受け、本学学生に解かせる	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 061 入試・広報 委員会	2019. 04	学生の受け入れに関する こと	入学手続期間の変更が必要である	入試の辞退者を減少させる方策が必要である	「入学意思確認書」の発行、入学手続き期間を A～C 日程分一括にする	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 062 法務研究科 会議	2019. 04	学生の教育に関すること	共通到達度確認試験施行 試験結果の確認が必要である	教育活動の自己評価の一環として共通到達度確認試験を活用する	試験結果を確認して意見交換した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 063 教務・学生 委員会	2019. 04	学生の教育に関すること	CAP の修正が必要である	2 年次について CAP が認証評価基準と整合的でなかった	当該年度入学生について特例を設定した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>

						( )	
No. 064 教務・学生 委員会	2019. 04-	学生の教育に関すること	基礎法学・隣接科目の法学類との共同開講の可能性を検討する必要がある	法学類教員の負担を軽減する必要がある	成績評価基準などに照らし法学類科目との共同開講の可能性を引き続き検討することとした（一部実施）	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 065 教務・学生 委員会	2019. 04	学生の教育に関すること	実務基礎科目の連携教員のあり方の検討が必要である	実務基礎科目について、連携教員制度を実効的なものとする	実務家教員の意向を確認して連携教員を設定することとした	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 066 入試・広報 委員会	2019. 05- 2021. 01	学生の受け入れに関する こと	法曹コース特別選抜制度の検討が必要である	いわゆる「5 年一貫」に対応した新たな選抜制度を設ける必要である	定員，選抜基準，選抜方法等順次委員会で検討し，導入を決定した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 067 教務・学生 委員会	2019. 06	学生の教育に関すること	カリキュラムの抜本的改定に関する提言があった	特に 2 年次で CAP による制限が厳しいことから，カリキュラムの抜本的改定の必要がある	カリキュラム・FD 委員会に提言した後に法学入門廃止などのカリキュラム変更につながる	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 068 カリキュラ ム・FD 委員 会	2019. 06 2019. 07	学生の教育に関すること	カリキュラムの問題点の改善策について検討が必要である	教務・学生委員会から指摘されたカリキュラムの問題点を克服する方策が必要である	検討し，教務・学生委員会及び点検評価委員会と再度調整することとした (最終的に，法学入門の廃止等の方針が	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>

					決定される)		
No. 069 カリキュラム・FD 委員会 教務・学生委員会	2019. 07- 2022. 09	学生の教育に関する事	在学中受験対応カリキュラムの策定が必要である	在学中受験に対応するカリキュラムを策定する必要がある	・「早期履修」制度の創設とそれに伴う一部科目の開講年次・開講期変更 ・いわゆる「3+2」入学者等の CAP 特例などの変更が最終的に決定される	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 070 FD 研修会	2019. 09	学生の教育に関する事	授業アンケートの改善が必要である	オムニバス科目でのアンケート回答に困難があった	教員ごとに回答することができるよう複数枚の用紙を配付することとした	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 071 教務・学生委員会	2019. 11	学生の教育に関する事	疑義申出制度の新設が必要である	不可以外について成績に対する疑義を担当教員に申し出る制度が必要である	疑義申出制度を新設した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 072 入試・広報委員会	2019. 11	学生の受け入れに関する事	転入学試験の廃止の検討が必要である	入試制度の効率化を図る必要がある	実績のほぼなかった転入学試験を廃止した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 073 教務・学生委員会	2020. 01	学生の教育に関する事	研究科共通科目の新設等の検討が必要である	法学研究科への改組に伴い、法学・政治学専攻との共通科目ならびに学類生の先	一部の科目を研究科共通科目および先取履修対象科目として設定した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>

				取履修について制度設計が必要である		( )	
No. 074 法務専攻会議	2020. 02	学生の教育に関すること	共通到達度確認試験結果の確認が必要である	教育活動の自己評価の一環として共通到達度確認試験を活用する	試験結果を確認して意見交換した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 075 法務専攻会議	2020. 02	学生の受け入れに関すること	入試の指標の確認が必要である	自己点検・評価の一環として、D 日程入試の合格判定と併せて当該年度全体の入試倍率等を確認する	確認の上意見交換した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 076 入試・広報委員会	2020. 02	学生の受け入れに関すること	自己評価書の記載事項の変更する必要がある	志望動機や人物に関するより適確な評価ができるような質問項目にする必要がある	自己評価書の記載事項を変更した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 077 カリキュラム・FD 委員会	2020. 03	学生の教育に関すること	修了単位数の変更が必要である	法学入門廃止に伴う修了単位数の扱いを検討する必要がある	最終的に、 ・基礎演習は必修としない ・修了に必要な単位数を 98 単位に削減することが決定された	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 078 カリキュラム・FD 委員会	2020. 03	学生の教育に関すること	クォーター学年暦対応の是非の検討が必要である	法学類との関係でクォーター化することの是非を検討する必要がある	原則として現行のセメスター制を維持するが、科目によってはクォーター対応が	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

					可能なものもあり， 教務・学生委員会と も連携して検討する こととした	( )	
No. 079 法務研究科 会議	2020. 03	学生の教育に関する事 件	定期試験結果等の確認が 必要である	自己点検・評価の一 環として学生の学修 状況を確認する必要 がある	定期試験の成績分布 を確認し，併せて原 級留置者等の状況に ついて確認した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 080 入試・広報 委員会	2020. 03	学生の受け入れに関す る事	条件付き合格制度の導入 の検討が必要である	入学者を増やすため の措置を講ずる必要 がある	短縮コースに条件付 き合格制度を導入し た	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 081 法務専攻会 議	2020. 04	その他法務専攻の運営及 び教育課程の改善のため 必要な事項	迅速な意思決定のあり方 の検討が必要である	委員会横断的な問題 に対し迅速に意思決 定を行う機関を設け る	基本問題検討委員会 を設置した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 082 教務・学生 委員会	2020. 04	学生の教育に関する事 件	CAP の見直しが必要であ る	学生が選択科目を履 修しやすくする必要 がある	・法学入門の廃止 ・CAP の変更 ・一部科目の開講期 移動	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 083 入試・広報 委員会 法務専攻会	2020. 04	学生の受け入れに関す る事	社会人特別選抜入試の導 入の検討が必要である	より多様な人材に入 学してもらう必要が ある	「社会人」の定義， 定員，受験科目，試 験方法を確定し，社 会人特別選抜入試の	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/>



議					導入を決定した	( )	
No. 084 教務・学生 委員会	2020. 04- 05	学生の教育に関する事	オンライン授業の制度設 計が必要である	オンライン授業にお ける欠席等の扱いを 定める必要がある	欠席特例申請におい て診断書の添付を省 略できるなどの措置 を決定した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 085 学生支援・ カリキュラ ム・FD 委員 会	2020. 05	学生の教育に関する事	カリキュラム改正につ いて検討する必要がある	在学中受験の開始を 見据え現行の実務基 礎科目について開講 期等を見直す必要が ある	・模擬裁判を民事・ 刑事に分割 ・コロナ禍に伴う相 談会開催困難化も見 据え、クリニックを 1 単位化 ・エクスターンシッ プを必修化 を検討した。最終的 に、教務システム上 困難が確認されたエ クスターンシップの 必修化を除き制度化 された	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 086 カリキュラ ム・FD 委員 会	2020. 06	学生の学習支援に関す ること	模試結果の共有のあり方 を検討する必要がある	学生の到達度の密な 把握が必要である	TKC 模試の結果につ き共有、意見交換し た	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 087 カリキュラ ム・FD 委員	2020. 07	学生の教育に関する事	研究者教員と実務家教員 の連携強化が必要である	実務基礎科目におい て研究者教員と実務 家教員の連携を強化	今後、教員による授 業参観時に連携教員 となっている科目の	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/>

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

会				する	参観を推奨すること とした	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
No. 088 学生支援・ カリキュラ ム・FD 委員 会	2020. 07- 2022. 05	学生の教育に関すること	カリキュラム・ポリシー の改定が必要である	各種法令等に適合す るようカリキュラ ム・ポリシーを改定 する必要がある	各年次で身に着ける べき能力等の記載を 追加し、カリキュラ ム・ポリシーを改定 した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 089 FD 研修会	2020. 09	学生の教育に関すること	授業アンケートの改善が 必要である	アンケート対象科目 の拡充が必要である	オンライン化に合わ せ、全科目をアンケ ート対象にした（選 択科目は任意回答）	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 090 入試・広報 委員会	2020. 09	学生の受け入れに関す ること	入試相談会のオンライン 実施の検討が必要である	コロナ禍で入試説明 会が開催できないこ とへの対応が必要で ある	オンライン相談会を 随時実施しているこ とを法務専攻会議に 報告した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 091 教務・学生 委員会 法務専攻会 議	2020. 10	学生の教育に関すること	CAP の変更の検討が必要 である	学生が多様な科目を 履修しやすい CAP 制 度にする必要がある	基礎演習が履修しや すくなるよう CAP を 変更し、併せて修了 要件を変更した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 092 教務・学生 委員会 法務専攻会 議	2020. 11-	学生の教育に関すること	法曹養成連携制度等導入 に伴う教務関係細則の見 直しが必要である	法曹養成連携制度及 び条件付き合格制度 導入により、教務関 係細則を整合的なも のにする必要がある	種々検討し、随時法 務専攻会議に上程、 議決の上実施してい る	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 093	2021. 02	学生の教育に関すること	共通到達度確認試験結果	教育活動の自己評価	試験結果を確認して	<input type="checkbox"/> 検討中	<input checked="" type="checkbox"/>

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

法務専攻会議			の確認が必要である	の一環として共通到達度確認試験を活用する	意見交換した	<input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
No. 094 教務・学生委員会	2021. 02	学生の学習支援に関する こと	アドバイス面談質問項目 の変更の検討が必要である	就職支援を拡充する	1 年次から進路変更 の可能性について学 生に注意喚起するよ うアドバイス面談質 問事項を変更した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 095 法務専攻会議	2021. 02	学生の受け入れに関する こと	入試の指標の確認が必要 である	自己点検・評価の一 環として、D 日程入 試の合格判定と併せ て当該年度全体の入 試倍率等を確認する	確認の上意見交換し た	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 096 法務専攻会議	2021. 03	学生の教育に関する こと	定期試験結果等を確認 する必要がある	自己点検・評価の一 環として学生の学修 状況を確認する必要 がある	定期試験の成績分布 を確認し、併せて原 級留置者等の状況に ついて確認した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 097 法務専攻会議	2021. 04	その他法務専攻の運営及 び教育課程の改善のため 必要な事項	法学類提供科目のあり方 を検討する必要がある	法学類への提供科目 を戦略的に配置する 必要がある	総合法学演習の今後 の開講形態について 検討した 結論として現状のま まとすることとした	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 098 法務専攻会議	2021. 04	学生の教育に関する こと	司法試験成績の検討を する必要がある	自己点検評価の一環 として今後の教育改 善のために司法試験 成績を検討する	検討の上意見交換し た	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/>

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

						( )	
No. 099 学生支援・ カリキュラ ム・FD 委員 会	2021. 05- 2022. 04	学習支援に関すること	自習室の管理について検 討する必要がある	卒業生や兼任教員が 残していった物等の 管理が必要である	学生との対話を重 ね、最終的に学生に 協力する形で不要物 の処分を実施した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 100 図書委員会	2021. 07	図書に関すること	図書室司書への研修が必要 である	図書室司書に、本学 の教育理念や業務に おける決まり事など を伝達する	図書室司書への研修 を実施した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 101 教務・学生 委員会	2021. 09	学生の学習支援に関する こと	SA 要項の改定が必要で ある	模擬裁判など一定の 受講者が必要な科目 に SA を動員できる ようにする必要がある	SA 要項を改定し、場 合により授業補助科 目を指定できるよう にした	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 102 学生支援・ カリキュラ ム・FD 委員 会等	2021. 09- 2022. 03	その他法務専攻の運営及 び教育課程の改善のため 必要な事項	AP・CP・DP の改定が必要 である	法令等に則り、また 一般にもわかりやす いポリシーを策定す る必要がある	各委員会で検討し、 法務専攻会議で決定 した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 103 法務専攻会 議	2021. 09	その他法務専攻の運営及 び教育課程の改善のため 必要な事項	法学類提供科目の新設の 検討が必要である	法学類学生に法科大 学院進学 of 動機付け をする必要がある	2022 年度以降法学類 に新たに「特講」を 提供する	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 104 法務専攻会	2021. 09	学生の学習支援に関する こと	他大学との学生交流会の 開催の検討が必要である	未修者学生に司法試 験受験への動機付け	千葉大学との間で学 生交流会をオンライ	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	<input type="checkbox"/>

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

議				をする必要がある	ンで開催した	<input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
No. 105 法務専攻会議	2021. 07	その他法務専攻の運営及び教育課程の改善のため必要な事項	教育支援者への研修が必要である	チューターに本学の教育理念や業務における決まり事などを伝達する	金沢弁護士会法科大学院支援委員会の弁護士への研修を実施した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 106 教務・学生委員会	2021. 10	学生の学習支援に関すること	アドバイス教員要領の改訂が必要である	在学中受験のための早期履修をするにあたり学生へのアドバイスを密にする必要がある	早期履修希望の学生にアドバイス面談をするよう改定した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 107 法務専攻会議	2021. 11	その他法務専攻の運営及び教育課程の改善のため必要な事項	四大学連携（他大学との連携）を検討する必要がある	司法試験選択科目等の教育充実のため、他大学と連携する必要がある	筑波大学・千葉大学・九州大学との連携協定書を承認した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 108 法務専攻会議	2021. 12	その他法務専攻の運営及び教育課程の改善のため必要な事項	教育課程連携協議会委員の追加が必要である	本学の理念にも照らし、組織内弁護士を委員に加える	自治体所属の職員を教育課程連携協議会委員に追加した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
No. 109 法務専攻会議	2021. 12	学生の教育に関すること	司法試験成績の検討が必要である	自己点検評価の一環として今後の教育改善のために司法試験成績を検討する	検討の上意見交換した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>

No. 110 法務専攻会 議	2022. 02	学生の受け入れに関する こと	入試の指標の確認が必要 である	自己点検・評価の一 環として、D 日程入 試の合格判定と併せ て当該年度全体の入 試倍率等を確認する	確認の上意見交換し た	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 111 法務専攻会 議	2022. 02	学生の教育に関すること	共通到達度確認試験施行 試験結果の確認が必要で ある	教育活動の自己評価 の一環として共通到 達度確認試験を活用 する	試験結果を確認して 意見交換した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 112 入試・広報 委員会	2022. 02	学生の受け入れに関する こと	社会人特別選抜のオンラ イン化の検討が必要であ る	受験生確保のため社 会人が受験しやすい 制度にする必要があ る	社会人特別選抜のオ ンライン化について 国との協議を開始し た	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 113 法務専攻会 議	2022. 03	学生の教育に関すること	定期試験結果等の確認が 必要である	自己点検・評価の一 環として学生の学修 状況を確認する	定期試験の成績分布 を確認し、併せて原 級留置者等の状況に ついて確認した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/>
No. 114 法務専攻会 議	2022. 04	その他法務専攻の運営及 び教育課程の改善のため 必要な事項	事務職員の雇用の検討が 必要である	認証評価等の対応の ため事務体制を強化 する必要がある	全学による組織再編 の結果減員された事 務職員の穴を埋める 形で、定年退職した 職員で長く法科大学 院の事務に携わった 者を再雇用した	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
						<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/>

						<div><input type="checkbox"/> 対応中</div> <div><input type="checkbox"/> 対応済</div> <div><input type="checkbox"/> その他</div> <div>(            )</div>	
--	--	--	--	--	--	---	--

※指摘事項、意見など、自己点検・評価において、改善・向上等の対応措置が必要と確認された事項すべてについて記載してください。

※「組織の名称」の欄は、自己点検・評価委員会、教授会、FD委員会等の組織の名称を記載してください。

※「年月」の欄は、自己点検・評価において確認された年月を記載してください。

※「計画の進捗状況」の欄は、該当する状況に☑してください。

※「前回評価の指摘事項」の欄は、本評価時に「改善すべき点」として指摘された事項に該当する場合、☑してください。

基準 2－3（重点評価項目） 法科大学院の目的に則した人材養成がなされていること

分析項目 2－3－1 修了者（在学中に司法試験を受験した在学生を含む。）の司法試験の合格状況が、全法科大学院の平均合格率等を踏まえて適切な状況にあること

【分析の手順】

- ・直近 5 年間の未修者・既修者別を含む司法試験の合格者を算出し、全法科大学院の平均合格率と比較して適切な状況にあることを確認する。
- ・上記手順において適切な状況にあるとは言えない場合は、直近 5 年間の未修者・既修者別を含む司法試験の合格率と当該法科大学院が自ら目標として設定している合格率を比較し、適切な状況にあることを確認する。
- ・法曹養成連携協定を締結し、文部科学大臣の認定を受けている場合は、特別選抜により連携法科大学院に進学した認定連携基礎課程からの進学者（法学部 3 年次終了後に早期卒業により法学既修者として入学した者や、それ以外の者も含む。）の司法試験の合格率についても算出し、法曹養成連携協定締結時に目標として設定した合格率と比較し、適切な状況にあることを確認する。

司法試験の合格状況（別紙様式 2－3－1）

各年度における司法試験合格状況

司法試験実施年度	受験者数			合格者数			合格率			基準ごとの分析を行った際に比較した合格率	
	法学未修者	法学既修者	計	法学未修者	法学既修者	計	法学未修者	法学既修者	計	数値	数値の説明
令和4年度	10	2	12	1	0	1	10.00%	0.00%	8.33%	18.82%	全国平均の2分の1
令和3年度	13	5	18	1	3	4	7.69%	60.00%	22.22%	17.31%	全国平均の2分の1
令和2年度	15	4	19	2	0	2	13.33%	0.00%	10.52%	16.34%	全国平均の2分の1
令和元年度	20	8	28	0	4	4	0.00%	50.00%	14.28%	14.54%	全国平均の2分の1
平成30年度	24	4	28	1	0	1	4.16%	0.00%	3.57%	12.37%	全国平均の2分の1

上記のうち、法曹養成連携協定の特別選抜枠による進学者に係る状況 ※令和4年度は対象外

司法試験実施年度	受験者数	合格者数	合格率	法曹養成連携協定締結時に目標として設定した合格率
令和4年度	※	※	※	
令和3年度	0	0	0.00%	
令和2年度	0	0	0.00%	
令和元年度	0	0	0.00%	
平成30年度	0	0	0.00%	

- （注）1. 自己評価書提出時点では、評価実施年度に実施される司法試験の結果が公表されていないため、機構にて法務省発表資料に基づき評価します。  
※印が記入されている箇所が該当しますので記入しないようにしてください。
2. 「受験者数」、「合格者数」欄には、司法試験が実施された各年度における、下記の状況が分かるよう記入してください。  
・5年の評価期間中に実施される各年度の司法試験について、当該法科大学院の修了を受験資格として司法試験を受験した者に対する司法試験を合格した者の割合
3. 「合格率」欄には、「合格者数」を「受験者数」で割った値（小数点第5位を切り捨て）が自動表示されます。  
（例：合格者数が13人、受験者数が74人の場合には、 $13 \div 74 = 0.17567 \cdots \approx 0.1756$ となり、『17.56%』で表示されます。）
4. 「基準ごとの分析を行った際に比較した合格率」欄には、分析を行った際に比較した合格率の数値と、数値の説明（全法科大学院の平均合格率、当該法科大学院の過去5年間の平均合格率等）を記入してください。



修了年度別修了者における司法試験合格状況

修了年度	修了者数	合格者数						合格率
		司法試験実施年度						
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計	
令和3年度	4					0	0	
令和2年度	3				2	0	2	
令和元年度	5			2	1	0	3	
平成30年度	5		3	0	1	0	4	
平成29年度	9	0	1	0	0	1	2	

- (注) 1. 自己評価書提出時点では、評価実施年度に実施される司法試験の結果が公表されていないため、機構にて法務省発表資料に基づき評価します。  
※印が記入されている箇所が該当しますので記入しないようにしてください。
2. 「修了者数」欄には、司法試験を受験しなかった者を含めて、当該年度に修了した者の人数を記入してください。
3. 「合格者数」欄には、各修了年度における修了者のうち、司法試験に合格した者の人数を記入してください。

基準 2－5 教員の質を確保し、さらに教育活動を支援又は補助する者も含め、その質の維持及び向上を図っていること

分析項目 2－5－1 教員の任用及び昇任等に当たって、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績に関する判断の方法等を明確に定め、実際にその方法によって任用、昇任させていること

【分析の手順】

- ・教員の任用や昇任等に際し、職階ごとに求める教育上、研究上又は実務上の知識、能力又は実績の基準を定めていることを確認する。
- ・採用・昇任時の教育上の指導能力に関する評価の実施状況を確認する。
- ・教員の担当する授業科目が、各教員の知識、能力、実績等に応じて決定されていることを確認する。

教員の採用・昇任の状況（過去 5 年分）（別紙様式 2－5－1）

	分類			令和4年度				令和3年度				令和2年度				令和元年度				平成30年度			
				教授	准教授	講師	助教	教授	准教授	講師	助教	教授	准教授	講師	助教	教授	准教授	講師	助教	教授	准教授	講師	助教
採用	専任教員	研究者	研・専														1			1			
		実務家	実・専	1				1													1		
		実務家・みなし	実・み																				
		兼務研究者	専・他																				
		兼務実務家																					
	兼任教員		兼担																				
	兼任教員		兼任																				
	合計			1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
昇任	分類			教授	准教授	講師	助教	教授	准教授	講師	助教	教授	准教授	講師	助教	教授	准教授	講師	助教	教授	准教授	講師	助教
	専任教員	研究者	研・専					1															
		実務家	実・専																				
		実務家・みなし	実・み																				
		兼務研究者	専・他																				
		兼務実務家																					
	兼任教員		兼担									1											
	兼任教員		兼任																				
	合計			0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 1. 評価実施年度の5月1日現在で記入してください。

2. 「専任教員」欄の「実・み」については実務家みなし専任教員（年間4単位以上の授業を担当し、かつ、法科大学院のカリキュラム編成等の運営に責任を有する者）数、「専・他」については法科大学院の専任ではあるが、他の学部・大学院の専任教員数を記入してください。

別紙様式 2－5－2

金沢大学大学院法学研究科法務専攻

**基準 2－5 教員の質を確保し、さらに教育活動を支援又は補助する者も含め、その質の維持及び向上を図っていること**

分析項目 2－5－2 法科大学院の専任教員について、教員の教育活動及び教育上の指導能力に関する評価を継続的に実施していること

【分析の手順】

- ・教員の教育活動及び教育上の指導能力に関する評価の継続的（定期的）な実施について、規則等で規定していることを確認する。

教員評価の実施状況（直近 3 回程度）（別紙様式 2－5－2）

評価実施年度	評価対象者数	評価結果の概要
R3 年度 (評価期間：R2 年度)	12	法務専攻専任教員の教員評価の結果は、「C」が 12 名。 授業アンケートの「総合評価」欄の全科目平均は 4.19。授業参観においては特に大きな問題を指摘する意見はみられなかった。
R2 年度 (評価期間：R1 年度)	14	法務専攻専任教員の教員評価の結果は、「B」が 2 名、「C」が 11 名、「D」が 1 名。 授業アンケートの「総合評価」欄の全科目平均は 3.94。授業参観においては特に大きな問題を指摘する意見はみられなかった。
R1 年度 (評価期間：H30 年度)	13	法務専攻専任教員の教員評価の結果は、「B」が 2 名、「C」が 11 名。 授業アンケートの「総合評価」欄の全科目平均は 4.03。授業参観においては特に大きな問題を指摘する意見はみられなかった。

## 基準 2－5 教員の質を確保し、さらに教育活動を支援又は補助する者も含め、その質の維持及び向上を図っていること

分析項目 2－5－3 授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント（FD）を組織的に実施していること

## 【分析の手順】

- ・FDの実施内容・方法（教育方法等の研究・研修、教員相互の授業参観等）及び実施状況（教員参加状況を含む。）を確認する。FDの実施に当たっては、教育課程方針に則した授業及び成績評価が実施されるよう、成績評価基準の内容や各授業科目の到達目標についての認識の共通化が図られていることを確認する。

## FDの実施内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式 2－5－3）

取組	主催	実施内容・方法	参加者数
FD 研修会 2017 年度第 1 回	カリキュラム・FD 委員会	①学生の状況についての情報共有 ②法学入門のあり方について ③入学前学習について	10 人
同 2017 年度第 2 回	同	①カリキュラム改訂に関する意見交換 ②授業アンケートに対する感想等を踏まえて	12 人
同 2018 年度第 1 回	同	①授業アンケートを踏まえて ②自習室の割り振りについて ③法学入門・「基礎演習（仮称）」の内容について	13 人
同 2018 年度第 2 回	同	①学生のレベルと授業での工夫について ②学生の学修意欲・自主性について	10 人
同 2019 年度第 1 回	同	①期末アンケートフォーマットについて ②一橋大学進級テストの利用 ③必修科目の見直し	11 人
同 2019 年度第 2 回	同	①カリキュラム改正の方向性 ②授業アンケートの結果	10 人
同 2020 年度第 1 回	同	オンライン開催 (Discord) ①前期・Discord での授業方法 ②後期・対面＋配信の授業方法 ③共通到達度確認試験対策 ④	11 人

		期末アンケートの対象科目について ⑤複数学年の担当におけるレベル調整について	
同 2021 年度第 1 回	学生支援・カリキュラム・FD 委員会	①ハイフレックス授業方法について ②共通到達度確認テストへの対応など ③答案の返却方法について ④学生の学力向上に関する施策について	12 人
同 2021 年度第 2 回	同	①共通到達度確認試験の結果の分析について ②原級留置率について ③学生の予習復習状況について	13 人
意見交換会（教員・弁護士・学生参加） 2017 年度第 1 回	カリキュラム・FD 委員会	林正人弁護士講演会「入学後の勉強方法」、意見交換	弁護士 4 名、教員 8 名、学生 12 名
同 2017 年度第 2 回	同	中澤聡弁護士講演会「学習支援の感想と改善点」、意見交換	弁護士 3 人、教員 5 人、学生 4 人
同 2018 年度第 1 回	同	口村直輝弁護士講演会、意見交換	弁護士 1 人、教員 6 人、学生 4 人
同 2018 年度第 1 回	同	加瀬亮弁護士講演会、意見交換	弁護士 3 人、教員 6 人、学生 7 人
意見交換会（教員・弁護士参加） 2019 年度第 1 回	同	①1 年生向けチューター ②論文指導内容の調整等	弁護士 5 人、教員 9 人
同 2019 年度第 2 回	同	①未修者指導について ②論文指導について	弁護士 2 人、教員 8 人
同 2020 年度第 1 回	同	①授業参観 (Discord) の感想 ②オンライン授業下の学習支援について ③合宿について ④修習生からの意見	弁護士 4 人、修習生 1 人、教員 11 人
同 2020 年度第 2 回	同	オンライン (Discord) 開催。①授業参観 (Discord) の感想 ②オンライン授業下の学修支援について	弁護士 5 人、教員 5 人

## 別紙様式 2 - 5 - 3

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

同	2021 年度第 1 回	学生支援・カリキュラム・FD 委員会	オンライン (Discord) 開催。①自習支援・チューターの内容について ②授業参観について ③答案の書き方指導について	弁護士 6 人、教員 11 人
同	2021 年度第 2 回	同	オンライン (ZOOM) 開催。①授業参観について ②自主支援・未修者チューター・自主ゼミについて ③	弁護士 9 人、教員 11 人
合同 FD 研修会 (千葉大学法科大学院と本専攻)	2017 年度第 1 回	千葉大学・金沢大学の各法科大学院	第 2 次法科大学院認証評価に関する意見交換	金沢大 2 人参加
同	2017 年度第 2 回	同	新たな法科大学院連携—広島大・神戸大法科大学院視察により	金沢大 7 人、千葉 大 1 人
同	2018 年度第 1 回	同	未修者教育の充実について	金沢大 1 名参加
同	2018 年度第 2 回	同	入試問題について	金沢大 5 人、千葉 大 2 人
同	2019 年度第 1 回	同	未修者教育の充実について—第 1 回共通到達度確認試験を受けて— を議論予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	人
同	2019 年度第 2 回	同	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	人
同	2020 年度	同	オンライン開催。①コロナ禍における今年度の授業方法について ②短答式試験・共通到達度確認試験について ③金沢大学法科大学院の入試問題について	金沢大 8 人、千葉 大 9 人
同	2021 年度	同	オンライン開催。① (本学学生に対し)「ノートの取り方」に関する講演。② (以下、学生は退出) コロナ禍における学習支援のあり方について ③授業方法について ④学生の縦の交流について ⑤金沢大学の法科大学院の入試問題について	金沢大 6 人、千葉 大 6 人、 ①につき金沢大 1 年次生 2 名全員
合同 FD 研修会 (筑波大学法科大		筑波大学・金沢大学の各法科大	①単位互換対象科目における出欠席の取り方 ②刑事模擬裁判	金沢大 4 人参加

## 別紙様式 2 - 5 - 3

## 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

学院と本専攻) 2018 年度	学院	の見学、実施方法	
同 2019 年度	同	①2020 年度の単位互換科目について ②未修者教育 ③モバイル授業	金沢大 6 人参加
同 2020 年度	同	オンライン (WebEX) 開催。①オンライン授業について	金沢大 3 人、筑波大 2 人
同 2021 年度	同	オンライン (ZOOM) 開催。①オンライン授業の方法について ②模擬裁判について	金沢大 10 人、筑波大 5 人
合同 FD 研修会 (一橋大学法科大学院と本専攻) 2019 年度	一橋大学・金沢大学の各法科大学院	未修者教育の充実	金沢大 7 人参加
同 2020 年度	同	オンライン (ZOOM) 開催。①コロナ完成拡大下での授業実践 ②期末試験実施方法	金沢大 3 人、一橋大 2 人
同 2021 年度	同	オンライン (ZOOM) 開催。未修者教育をめぐる課題 (各法科大学院より)、意見交換	金沢大 9 人、一橋大 2 人
合同 FD 研修会 (本学法学類と本専攻) 2020 年度	法学類と本専攻	ハイブリッド型授業の実践について	本専攻 4 人、法学類 21 人

## 別紙様式 3－7－2

金沢大学大学院法学研究科法務専攻

### 基準 3－7 専任教員の授業負担等が適切であること

分析項目 3－7－2 法科大学院の専任教員には、その教育上、研究上及び管理運営上の業績に応じて、数年ごとに相当の研究専念期間が与えられるよう努めていること

#### 【分析の手順】

- ・研究専念期間について定めた規則があるか確認する。また、過去 5 年間に研究専念期間を取得した教員の人数や期間等の実績を確認する。

過去 5 年間ににおける教員の研究専念期間取得状況（別紙様式 3－7－2）

年度	研究専念期間を 取得した教員数	実施状況(期間を含む)	規則等
2016-2017	1	2016 年 10 月から 2017 年 9 月まで，フランス・ストラスブール	国立大学法人金沢大学サバティカル研修規程



**基準 4－2 学生の受入が適切に実施されていること**

分析項目 4－2－1 学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、公正かつ適正に実施していること

**【分析の手順】**

- ・ 入学者選抜実施体制の整備状況（組織の役割、構成、意思決定プロセス、責任の所在等）を確認する。その際、法科大学院を設置する大学の学部卒業（予定）者等が有利とされない措置がなされていることを確認する。
- ・ 入学者選抜の方法が学生受入方針に適合していることを確認する。
- ・ 「法科大学院法学未修者等選抜ガイドライン」に則して実施していることを確認する。
- ・ 法学未修者に対して、法律学の知識及び能力の到達度を図ることができる試験（法学検定試験等）の結果を加点事由としていないことを確認する。
- ・ 入学者選抜の実施方法や実施時期に関して、早期卒業して入学しようとする者及び飛び入学しようとする者に対して適切な配慮がなされていることを確認する。
- ・ 社会人や法学以外を専門とする者など多様な人材が入学者選抜を受験できるように配慮されていることを確認する。
- ・ 身体に障害のある者に対して特別措置等を行っていることを確認する。

## 入学者選抜の方法一覧（別紙様式 4－2－1）

入学者選抜の種類	選抜方法	入学者選抜要項等の記載ページ
(1)標準コース	①小論文試験、②面接試験及び③自己評価書の審査により総合的に判定する。	令和 4（2022）年度金沢大学法科大学院学生募集要項 6 頁
(2)短縮コース	①法律専門科目試験、②面接試験、③自己評価書の審査及び④特筆すべき資格等により総合的に判定する。	令和 4（2022）年度金沢大学法科大学院学生募集要項 7 頁
(3)社会人特別選抜（標準コース）	①事前提出課題、②口述試験及び③自己評価書の	令和 4（2022）年度金沢大学法科大学院学生募集

別紙様式 4－2－1

金沢大学大学院法学研究科法務専攻

	審査により総合的に判定する。	要項 8 頁
(4)法曹養成プログラム修了予定者特別選抜（短縮コース）	①面接試験、②学士課程の全科目の成績（GPA）、 ③自己評価書の審査により総合的に判定する。	令和 4（2022）年度法曹養成プログラム修了予定者を対象とする金沢大学法科大学院特別選抜学生募集要項 4 頁

基準4－3 在籍者数及び実入学者数が収容定員及び入学定員に対して適正な数となっていること

分析項目4－3－1 在籍者数が収容定員を大幅に上回っていないこと

【分析の手順】

- ・過去5年間の収容定員（入学定員の3倍の数をいう。）に対する在籍者数（原級留置者及び休学者を含む）の割合を確認する。
- ・上記の割合が継続的に100%を上回っている場合は、適正化を図る取組がなされていることを確認する。

分析項目4－3－2 収容定員に対する在籍者数の割合、入学定員に対する実入学者数の割合、入学者数の規模及び競争倍率が、適正な割合、規模又は倍率となっていること

【分析の手順】

- ・過去5年間の入学定員に対する実入学者数の割合が50%を下回っていないことを確認する。
- ・過去5年間の入学者数が10人を下回っていないことを確認する。
- ・過去5年間の競争倍率が2倍を下回っていないことを確認する。
- ・上記の割合、人数又は倍率が下回っている場合は、入学者受入方針に従って適切な選抜が実施されていることを確認し、適正化を図る取組がなされていることを確認する。

学生数の状況(別紙様式4－3－1)

入学者選抜の状況

年度	種別	入学定員 【a】 (人)	志願者数 (人)	受験者数 【b】 (人)	合格者数 【c】 (人)	競争倍率		入学者数		入学定員充足率 (d/a)(%)	入学者数内訳									
						法学未修者、法 学既修者別 (b/c)	全体	法学未修者、法 学既修者別 (人)	合計【d】 (人)		Ⅰ自大学の法学関係の 学部出身者		Ⅱ自大学の法学関係以外の 学部出身者		Ⅲ他大学の法学関係の 学部出身者		Ⅳ他大学の法学関係以外の 学部出身者		Ⅴ法曹コース出身者	
											実務の経験を 有しない者 (人)	実務の経験を 有する者 (人)	実務の経験を 有しない者 (人)	実務の経験を 有する者 (人)	実務の経験を 有しない者 (人)	実務の経験を 有する者 (人)	実務の経験を 有しない者 (人)	実務の経験を 有する者 (人)	協定先の法曹 コース出身者 (人)	協定外の法曹 コース出身者 (人)
令和4年度	法学未修者	15	35	28	13	2.15	2.21	10	14	93%	1	1			5	1	1	1		
	法学既修者		27	23	10	2.30		4						2				1		
	法学未修者		22	16	9	1.77		3											2	
令和3年度	法学既修者	15	19	16	9	1.77	1.77	6	9	60%	3							3		
	法学未修者		24	19	9	2.11		7						4						
	法学既修者		16	15	6	2.50		3			2					1				
令和2年度	法学未修者	15	21	18	15	1.20	1.65	5	7	46%		1					1	3		
	法学既修者		15	15	5	3.00		2										2		
	法学未修者		16	12	11	1.09		5			7	46%	1				3	1		
法学既修者	10	8	4	2.00	2	1				1										
平成31年度	法学未修者	15	15	10	10	1.00	1.43	8	12	80%			2				2		1	3
	法学既修者		15	13	6	2.16		4			3					1				

実務の経験を有する者の定義

「実務経験」とは、文科省告示第53号（H15.3.31）第3条に規定する「実務経験を有する者を指す。文科省側は「定職に就いた経験を有する者」と説明しており、一般的に「職歴」として扱われる経験を有する者であるとのことである。したがって、短期間のパートなどは含まれないと解釈されるが、最終的には当該部署の判断により分類されることになる。（H16.9.10 学生募集課入学試験係長に確認）●本研究科では、アルバイト、パートは含まず、派遣社員は含むものとして取り扱う。

他学部出身者の定義

以下のいずれかに該当する場合には、「他学部出身者」として扱う。①法学部以外の学部（ただし、法学科を除く。）の卒業または卒業見込み、②法学部政治系学科の卒業または卒業見込み。

在籍者数等の状況

年度	種 別	収容定員 【 e 】 (人)	1年次			2年次			3年次			在籍者数 合計【 j 】 【 f1+ f2+ f3 】 (人)	在籍者数 に対する 在籍者数の割合			退学者数 (人)	修了者数					
			在籍者数 【 f1 】 (人)	内数(人)		在籍者数 【 f2 】 (人)	内数(人)		在籍者数 【 f3 】 (人)	内数(人)			長期履修生数 【 g1+ g2+ g3 】 (人)	内数(人)			長期履修生数 (人)	内数(人)				
				長期履修生数 【 g1 】	原級留置者数 【 h1 】		休学者数 【 i1 】	長期履修生数 【 g2 】		原級留置者数 【 h2 】	休学者数 【 i2 】			長期履修生数 【 g3 】	原級留置者数 【 h3 】				休学者数 【 i3 】	長期履修生数 (人)	原級留置者数 (h1+ h2+ h3)	休学者数 (i1+ i2+ i3)
令和4年度	法学未修者	45	10	0	1	6	4	4	4	0	0	33		8	9	73%						
	法学既修者					6	2	2	7	2	2											
令和3年度	法学未修者	45	10	7	5	8	4	2	3	1	0	31		14	11	69%	8	3				
	法学既修者					7	1	2	3	1	2						0	1				
令和2年度	法学未修者	45	12	5	5	9	5	7	2	1	1	30		12	13	67%	4	1				
	法学既修者					4	1	0	3	0	0						1	2				
平成31年度	法学未修者	45	9	4	4	7	3	4	6	1	1	26		10	9	58%	1	5				
	法学既修者					4	2	0	0	0	0						0	0				
平成30年度	法学未修者	45	9	4	0	10	3	3	1	0	0	27		7	3	60%	3	0				
	法学既修者					2	0	0	5	0	0						0	5				

- (注) 1. 学生数の状況については、評価実施年度の5月1日現在で記入してください。
2. 入学者選抜の状況の「入学者数内訳」の「自大学の法学関係の学部出身者」とは、当該法科大学院を設置している大学の主として法学を履修する学科若しくは課程等に在学、又はこれらを卒業した者をいいます。
3. 入学者選抜の状況の「入学者数内訳」欄において、「Ⅰ自大学の法学関係の学部出身者」～「Ⅳ他大学の法学関係以外の学部出身者」欄に記載される人数は、法曹コース出身者の人数も含めた人数を記載してください。
4. 入学者選抜の状況の「競争倍率」、「入学定員充足率」は、小数点第3位以下を切り捨てた値が自動表示されます。
- (例:「競争倍率」欄について、受験者数が180人、合格者数が87人の場合には、 $180 \div 87 = 2.068\cdots \approx [2.06]$ で表示されます。)
5. 「実務の経験を有する者の定義」及び「他学部出身者の定義」については、当該法科大学院が定めるそれぞれの定義を記入してください。